



富士市自転車 活用推進計画

～ 自転車に乗ることが 楽しくて 笑顔になるまち ふじ ～



令和3年10月 富士市

はじめに

自転車は、環境にやさしく、身近で便利な乗り物として、日常生活やレクリエーションなど、様々な場面で利用されています。昨今では、人々の健康志向の高まりやSDGsの取組、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など社会情勢の変化により、自転車を取り巻く状況や課題が多様化してきています。

本市では、これまで平成23年3月に策定した「富士市自転車利用総合計画」により、自転車走行空間の整備や駐輪環境の適正化、市民の自転車の利用促進などに関する施策に取り組んでまいりました。

一方、国は、自転車の活用による環境への負荷の低減、災害時における交通の機能の維持、国民の健康の増進等を図ることなどの課題に対応するため、平成29年5月に「自転車活用推進法」を施行しました。また、平成30年6月に「自転車活用推進計画」を、令和3年5月には、令和7年度までを計画期間とする「第2次自転車活用推進計画」を閣議決定しています。

このような状況を踏まえ、本市では、「富士市自転車利用総合計画」の理念を継承しつつ、「SDGs未来都市」としてSDGsの理念に沿った持続可能なまちづくりや、自転車の活用に関する施策を総合的に推進するため、新たに「富士市自転車活用推進計画」を策定しました。

本計画の目指す姿である「自転車が楽しくて笑顔になるまちふじ」の実現には、市民、事業者、関係機関との協働により、自転車の活用の推進に取り組んでいくことが重要でありますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、富士市自転車活用推進計画策定懇話会の委員の皆様をはじめ市民の皆様並びに事業者の皆様から、多くの貴重なご意見やご提言をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

令和3年10月

富士市長 小長井 義正



目 次

第 1 章 計画の基本的事項	
1. 自転車活用のメリット.....	1
2. 計画策定の背景と目的.....	3
3. 計画の期間と区域.....	4
4. 計画の位置付け.....	5
第 2 章 自転車に関するニーズと現状	
1. 本市の自転車に関するニーズ.....	6
2. 本市の自転車に関する現状.....	18
第 3 章 自転車活用の課題の整理	
1. 本市の自転車活用の課題.....	28
第 4 章 計画の基本的な考え方	
1. 本計画の目指す姿と目標.....	30
第 5 章 取組施策と評価指標	
1. 施策の体系.....	32
2. 具体的な取組内容.....	34
3. 評価指標.....	63
第 6 章 計画の推進に向けて	
1. 計画の推進体制.....	64
2. 計画の進行管理.....	65
参考資料	
・ 計画策定の経過と体制.....	66
・ パブリック・コメントの実施結果.....	70
・ 市民ウェブアンケートの調査結果.....	71
・ 評価指標の設定方法.....	82
・ 用語集	89



1. 自転車活用のメリット

自転車は、環境にやさしい乗り物であるとともに、サイクリングを通じた健康づくりや余暇の充実等、人々の行動を広げ、地域とのふれあいや仲間とのつながりを取り持つコミュニケーションツールでもあります。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民のライフスタイルや交通行動に変化が生じてきており、人との接触を低減する移動手段として、自転車の利用ニーズが高まっています。

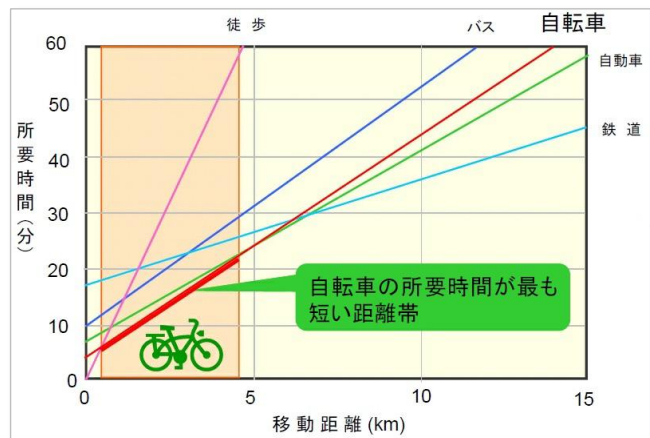
このような自転車への関心の高まりや新しい動向を踏まえて、本市での自転車の利活用を考えていくことが大切です。

○ 身近で便利な乗り物

自転車は、子どもから大人まで、幅広い年齢層が利用する身近な乗り物です。

最近では、電動アシスト自転車等の普及により、坂道でも気軽に自転車を利用できるようになりました。

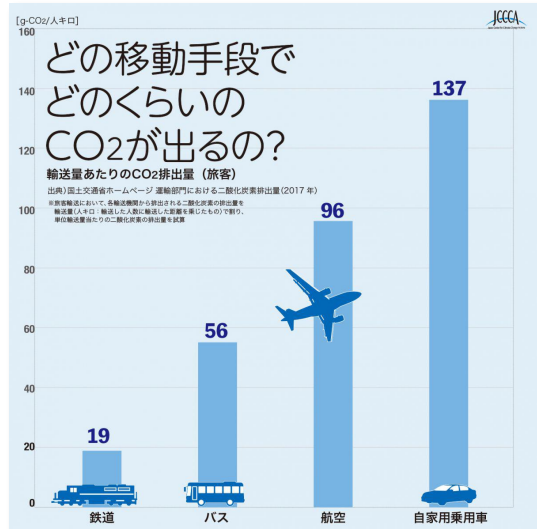
また、自転車は、交通渋滞の影響を受けにくく、5km程度までの移動であれば、自動車よりも移動時間が短く済み、時間の節約になります。



○ 環境にやさしく経済的な乗り物

地球温暖化に最も大きな影響を及ぼしているのは、二酸化炭素と言われていますが、自転車は、二酸化炭素を排出しません。また、自転車は、排気ガスも排出しないため、環境にやさしい乗り物です。

自転車は、購入費や維持費等が少なく、燃料代や駐車料金等もかからないことが多いため、経済的な乗り物です。



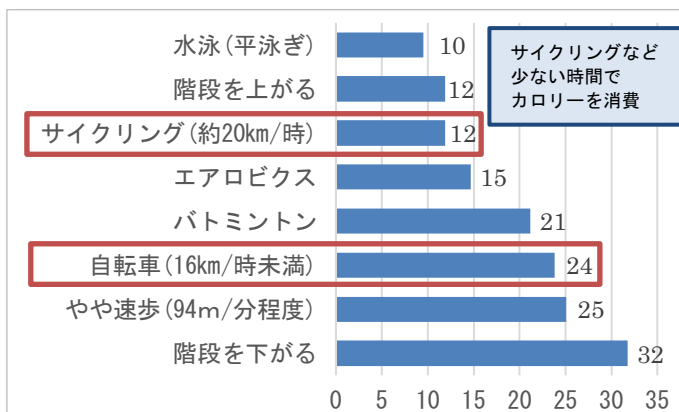
出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (https://www.jccca.org/)



○ 健康増進に効果的な乗り物

自転車は、健康づくりに効果がある有酸素運動ができ、通勤や通学、買い物、仕事の移動など、日常の移動を自転車に置き換えることで、運動の時間が確保できない人でも、健康づくりができる乗り物です。

人間の筋力は、加齢とともに低下しますが、自転車は、下半身の筋力を膝や腰に負担をかけずに維持・増加することができます。



体重60kgの人が、運動により100kcalのエネルギーを消費する時間(分)

参考:「健康づくりのための運動指針(平成18年)」(厚生労働省)

○ スポーツとしての乗り物

自転車は、仲間と一緒に、ツーリングや自転車イベント、自転車レースに参加するなど、楽しくスポーツができる乗り物です。

また、サイクリングは、一人でも自分の身体能力等に応じて、いつでも気軽に楽しむことができます。

自転車競技は、第1回オリンピックから途切れることなく実施されている人気のスポーツで、様々な種目もあり、観戦して楽しむことができます。

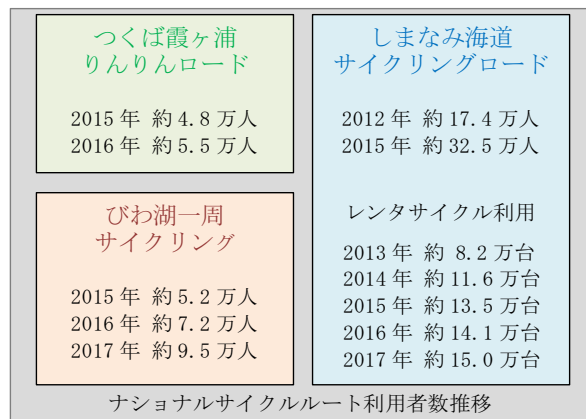


提供:レバンテフジ静岡

○ 観光やレジャーに利用できる乗り物

自転車に乗って地域の景観や観光資源をゆったりとしたペースで巡るサイクルツーリズムに注目が集まっており、国内のナショナルサイクルルートでは、年々利用者数が増加しています。

その他にもレンタサイクルやシェアサイクルを利用した観光など、様々な分野で自転車が活用されています。



参考:「国内におけるサイクルツーリズムの現状」(国土交通省)



2. 計画策定の背景と目的

自転車は、日常生活において身近で便利な乗り物として、通勤、通学、買い物、スポーツ、レジャーなど、様々な場面で利用されています。

このような中、国は、自転車の活用による環境負荷の低減、災害時における交通の機能の維持、国民の健康の増進等を図ることなど新たな課題に対応するため、交通の安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進し、交通における自動車への依存の程度を低減することによって、公共の利益の増進に資すること等を基本理念とする「自転車活用推進法」（平成28年法律第113号）を平成29年5月1日に施行しました。

また、自転車の活用推進に関する総合的かつ計画的な推進を図るため、自転車活用推進法第9条に基づいて「第2次自転車活用推進計画」を令和3年5月に閣議決定しました。

静岡県においても自転車活用推進法第10条に基づく「静岡県自転車活用推進計画」を平成31年（2019年）3月に策定し、サイクルスポーツの聖地に向けた多様な施策を推進しています。

本市では、平成23年3月に「富士市自転車利用総合計画」を策定し、「自転車の適正な利用を促進し、安心・安全で快適な移動の実現」を目的に「走る・停める・使う」を視点として、自転車走行空間の整備や駐輪環境の適正化、市民の自転車の利用促進などに関する施策を推進してきました。

昨今では、ナショナルサイクルルートとして指定された「太平洋岸自転車道」や県のモデルルートとして「富士山一周サイクリングルート」が設定されたこと、地域密着型のプロサイクリングチームの拠点事務所が置かれたこと、加えて東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技が静岡県で開催されたことなど、本市の自転車を取り巻く環境が変化してきており、市民の自転車に対する関心の高まりから、市民が自転車を活用する機会の増加が想定されます。

このような状況を踏まえ、本市は、これまでの「富士市自転車利用総合計画」の理念を継承しつつ、「SDGs未来都市」としてSDGsの理念に沿った持続可能なまちづくりを推進し、市民、事業者及び行政が連携しながら本市の実情に応じた自転車の活用に関する施策を総合的に推進するため、自転車活用推進法第11条に基づき「富士市自転車活用推進計画」を策定しました。

【参考】SDGsについて

SDGsは、2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す国際社会全体の2030年に向けた目標です。世界共通の目標として17のゴール（目標）と、それぞれの下により具体的な169項目のターゲット（達成基準）があります。

本市は、令和2年7月17日に「SDGs未来都市」に選ばれました。





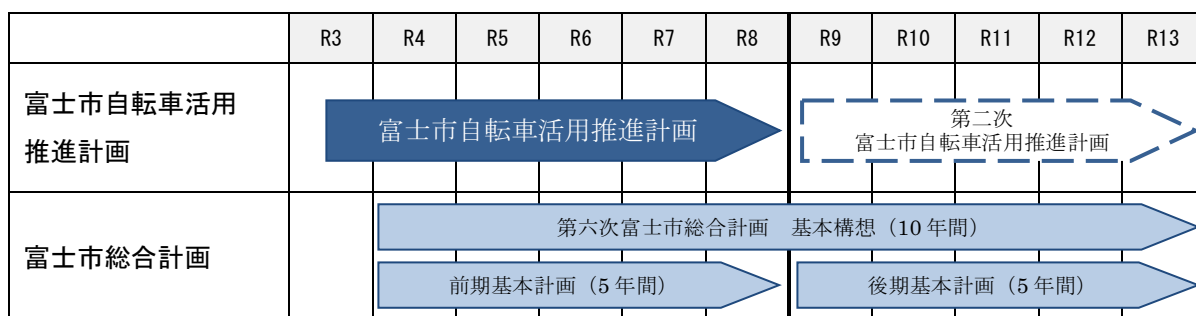
【参考】国及び県の自転車活用推進計画について				
<p>国及び県の自転車活用推進計画の目標を整理すると「サイクルスポーツ振興」、「サイクルツーリズム推進」、「裾野拡大・安全安心」、「走行空間整備」の4つに分類することができます。</p>				
	<p>サイクルスポーツ振興</p>	<p>サイクルツーリズム推進</p>	<p>裾野拡大安全安心</p>	<p>走行空間整備</p>
国の計画	<p>目標① サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現</p>	<p>目標② サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現</p>	<p>目標③ 自転車事故のない安全で安心な社会の実現</p>	<p>目標④ 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成</p>
県の計画	<p>■ 目指す姿 「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”の実現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外から多くのサイクリスト、自転車競技者が訪れ、交流する地域 ・住民の多くが自転車に親しみ、サイクリストを理解し、温かくもてなす地域社会 			
	<p>目標① 競技振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車競技のアジア中心地への成長と自転車アスリート育成体制の構築 	<p>目標② サイクルツーリズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的なサイクルツーリズムの目的地創造 	<p>目標③ 裾野拡大・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・快適に誰もが自転車で親しむ地域社会の形成 	<p>目標④ 走行空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な自転車走行空間の形成

図表 1-1 国及び県の自転車活用推進計画の構成図

3. 計画の期間と区域

計画期間は、令和3年度（2021年10月）から令和8年度（2027年3月）までの5年6カ月とします。

また、計画期間中に社会情勢などの大きな変化がある場合には、適宜計画の見直しを行います。なお、計画の区域は、富士市全域とします。



図表 1-2 「富士市自転車活用推進計画」の期間



4. 計画の位置付け

本計画は、国の「自転車活用推進計画」及び静岡県の「静岡県自転車活用推進計画」を踏まえて策定するものです。

また、本市の「富士市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をはじめとする行政計画との整合を図り、本市の自転車の活用の推進に関する施策を総合的に進めるための計画として位置付けます。

今後、法律や国及び県の計画に変更があった場合は、計画の見直しを行うなど、関連計画との整合を図っていきます。



図表 1-3 「富士市自転車活用推進計画」の位置付け



1. 本市の自転車に関するニーズ

本市における自転車に関するニーズを把握するため、市民へのウェブアンケート調査及び関連団体へのヒアリング調査を実施しました。

実施して得た自転車に関するニーズを10項目に整理しました。

(1) 市民ウェブアンケート調査の概要

- ①実施方法：「しずおか電子申請サービス」を利用したウェブアンケートを実施
- ②調査時期：令和2年9月16日(水)から9月30日(水)
- ③回答数：1,269通
- ④周知方法：富士市ウェブサイトへの掲載及び公共施設へのチラシ(QRコード付き)を配布

(2) ヒアリング調査の概要

- ①実施方法：対象者との対面によるヒアリング調査を実施
- ②調査時期：令和2年9月から10月
- ③対象者数：富士市の自転車関連の12団体

**自転車のことを
教えてください。
さいくりんぐ。**

富士市自転車活用推進プロジェクト

アンケート項目抜粋●
●あなたの所持している自転車の種類を教えてください
●あなたは週にどれくらい自転車を利用されますか●自転車を安全に利用するための「自転車安全利用五則」を知っていましたか●自転車利用環境で危険を感じていることを教えてください●自転車が安心して道路を走行できるように、道路が整備されているのを見たことがありますか●サイクリングに出かけたことがありますか。また、出かけてみたいですか・・・

アンケートに関するWebアンケートにご協力ください。

アンケート募集期間
9月30日まで
アンケートはこちらから→

富士市は、ノリがいい！

富士市 市民部 スポーツ振興課 si-sports@div.city.fuji.shizuoka.jp 電話：0545-55-2876 担当：石井・影山

No.	対象者
1	レバンテフジ静岡
2	ふじのくに east サイクリストクラブ
3	富士警察署 交通課
サイクルショップ	
4	サイクルセブン(伝法)
5	ミンズーバイク(比奈)
6	ユーキャン(入山瀬)
観光関係者	
7	(一社)富士山観光交流ビューロー
8	富士パークホテル
9	東横イン新富士駅南口
交通事業者	
10	富士急行静岡バス
11	タクシー協会
12	岳南電車

図表 2-2 ヒアリング対象者一覧

図表 2-1 ウェブアンケート調査チラシ





(3) 自転車に関するニーズの調査結果

1: 自転車競技

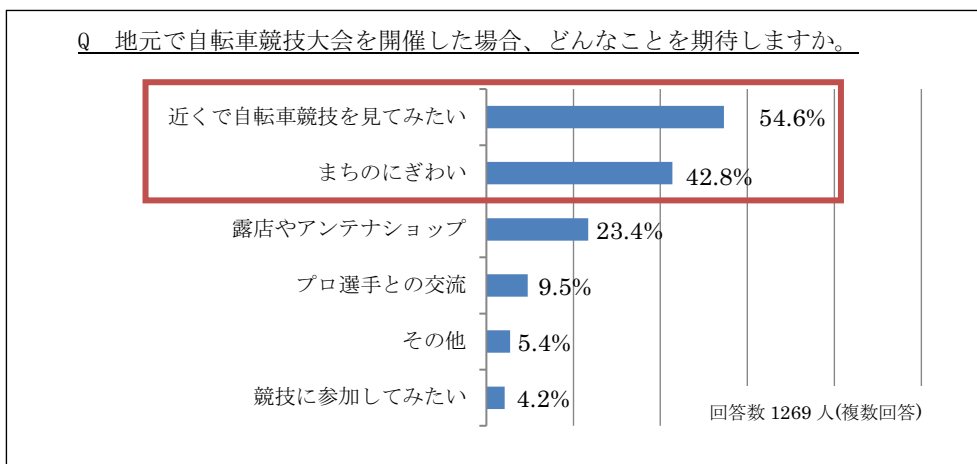
ニーズ 1-1: トップアスリートを間近で見られる自転車競技大会の開催によるまちの賑わいづくりが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・トップアスリートの自転車競技を間近で見てもらい、自転車競技のすばらしさを体感してもらいたい。
- ・自転車競技大会を開催することで、市民の自転車に関する関心が高まり、また、競技大会の観戦の楽しみ方を同時に伝えることで、より関心が高まる。
- ・市内には、様々な自転車競技を行うことができる資源があるため、自転車競技大会を開催することで、市内外から人を呼び込み、地域の活性につながる。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車競技を「近くで自転車競技を見てみたい」と回答している人の割合が最も多いです。



ニーズ 1-2: 市民が参加できる自転車競技大会の開催が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・自転車競技を継続的なものにするためには、市民が参加できる、競技大会の開催が有効。
- ・トップアスリートの自転車競技大会と市民参加型の競技大会を同時に開催することで、魅力がある大会となる。

【コラム】

○ 他市で開催している自転車競技大会では、多くの来場者で賑わい、地域経済の活性化につながっています。

レース名 (大会名)	来場者数	参加選手数等
ツアー・オブ・ジャパン富士山ステージ	10,000 人	96 人 / 16 チーム
ツアー・オブ・ジャパン伊豆ステージ	21,500 人	

参考: 「NTN presents 2019 Tour of Japan REPORT」
(ツアー・オブ・ジャパン)



市街地のクリテリウム開催のイメージ
提供: レバンテフジ静岡



2： サイクルスポーツに関する人材の育成

ニーズ 2-1：自転車競技を支える選手や指導者の育成、安全な練習環境の確保が求められています。

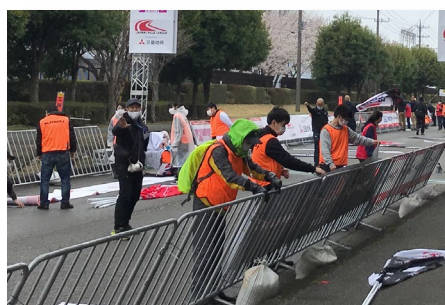
【ヒアリング調査での意見】

- ・地元から自転車競技で活躍する選手を輩出するためには、小学生から競技を行える環境が必要。
- ・ジュニアチームの創設が必要。
- ・安全に練習を行える環境を確保していくことが重要。
- ・競技の発展には、選手だけではなく、指導者の育成も必要。
- ・障害者のための自転車競技の普及を図っていくことが重要。

ニーズ 2-2：自転車競技大会等を支えるボランティアの育成が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・大きな競技大会やイベントは、ボランティアの協力なしでは成り立たない。
- ・ボランティアが継続的に携わる体制を作ることが重要。
- ・高校生等にボランティアへ関わってもらうことによって、楽しさややりがいを伝えることができ、大人になってもボランティアへの関心を持ってもらえる。



大会に運営に携わるボランティアのイメージ

【コラム】

- スポーツ振興についての国や地方公共団体への要望として、「スポーツ指導者の養成」について、高い要望があり、この10年間で増加傾向にあります。

【スポーツ振興について国や地方公共団体への要望】



出典：「平成26年度体力・運動能力調査」(文部科学省)



3: サイクリングコース

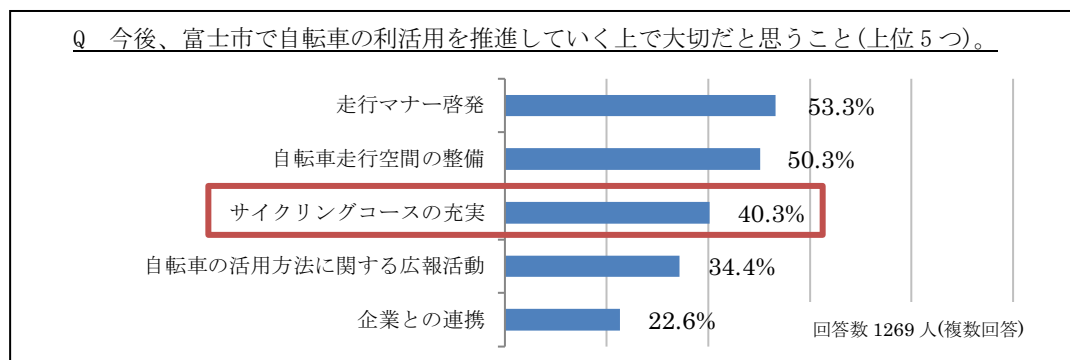
ニーズ 3-1: 地域資源を活用した魅力あるサイクリングコースの充実が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・市内には、富士山の様々な景観を楽しめる場所が多くあるため、それらを活かした本市特有のサイクリングコースを作ることによって多くの人を呼び込める。
- ・市内だけで完結するサイクリングコースも重要だが、市域を跨ぐ広域のサイクリングコースを作ることによって、サイクリングコースの魅力が高まる。
- ・サイクリストが走行する時にわかりやすい矢羽根型路面標示や統一ロゴを使用した案内看板等が必要。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車利活用の推進で大切だと思うことについて、「サイクリングコースの充実」が40.3%となっており、ニーズが高くなっています。



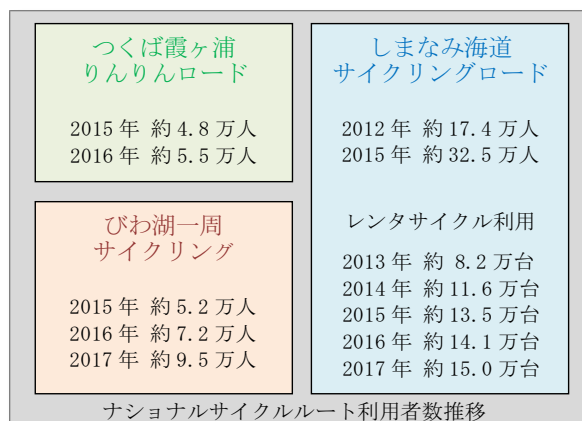
ニーズ 3-2: 市内外に向けたサイクリングの情報発信が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・魅力のあるサイクリングルートやコースを設定するだけでなく、市内外に向けた情報発信が重要。

【コラム】

○ 魅力のあるサイクリングコースを整備することにより、国内外のサイクリストが多く集まっています。



参考: 「国内におけるサイクルツーリズムの原状」(国土交通省)



4: サイクリストの受入環境

ニーズ 4-1: サイクリストに喜ばれるサービスやサイクリストが利用しやすい宿泊施設や飲食店などの充実が求められています。

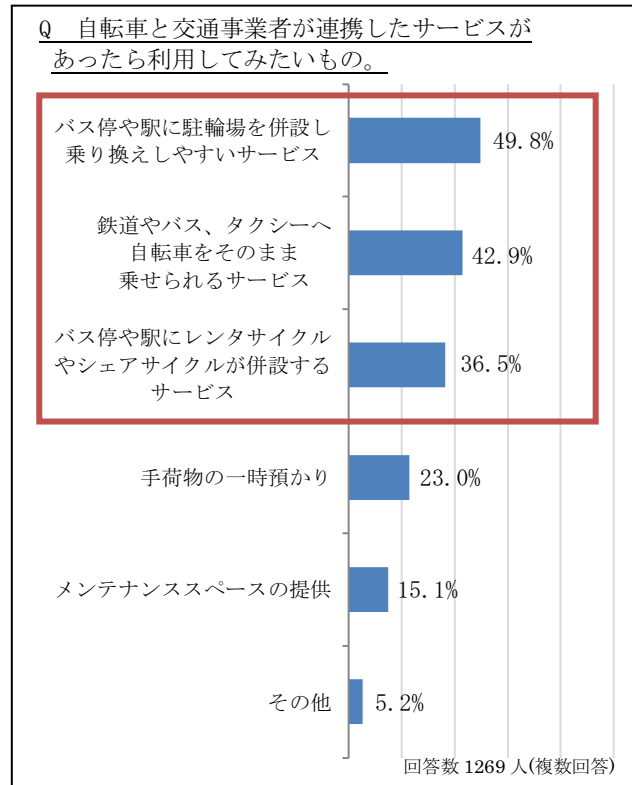
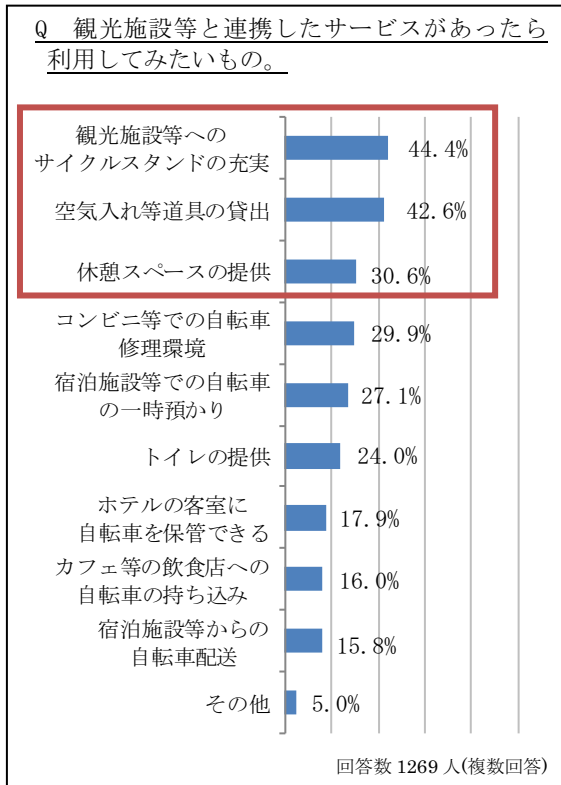
【ヒアリング調査での意見】

- ・サイクリストを呼び込むことにより、市内での消費が増加し、活性化につながる。
- ・宿泊施設や飲食店で、サイクリストに喜ばれるサービスは、自転車を室内に持ち込めるサービスや空気入れ等の自転車工具の貸出サービスがある。
- ・サイクルラックが、市内の多くの店舗にあるとサイクリストが訪れやすくなる。
- ・自転車を輪行袋に入れずに直接持ち込める鉄道やバスがある。
- ・タクシーやバスに、自転車を積むことができるキャリアの設置がある。

【アンケート調査結果】

▼ 観光施設等に求められているサービスで、ニーズが高いものは、サイクルラックの充実や空気入れ等の道具の貸出などです。

▼ 自転車と公共交通が連携したサービスでニーズが高いものは、バス停や駅に駐輪場があることや公共交通に自転車をそのまま載せられるサービスなどです。



ニーズ 4-2: 観光客が楽に市内を周遊できる電動アシスト自転車の貸出サービスなどが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・本市は坂が多く、観光客が快適に自転車を利用できるように電動アシスト自転車や E-BIKE のレンタルサイクルが望まれる。
- ・レンタルサイクルを借りられる場所が増えることで利用がしやすくなる。



【コラム】

○ 魅力的なサイクリングコースや宿泊施設の整備が進むと、観光客やサイクリストやレンタサイクル利用者が増加しています。

瀬戸内しまなみ海道自転車道が一大観光地として地域振興に貢献 ～愛媛県・今治市～

○瀬戸内しまなみ海道自転車道は、米CNNの世界7大サイクリングロードに選定されるなど、海外からも高い評価を受け、外国人宿泊客が1.5倍に増加。
○隣接する今治市では、サイクリストの宿泊施設の整備が進むとともに、道の駅等にあるレンタサイクルターミナルでのレンタサイクル利用が増加。



出典：「愛媛マルゴト自転車道」（愛媛県 観光物産課）

5： 自転車の交通ルールやマナー

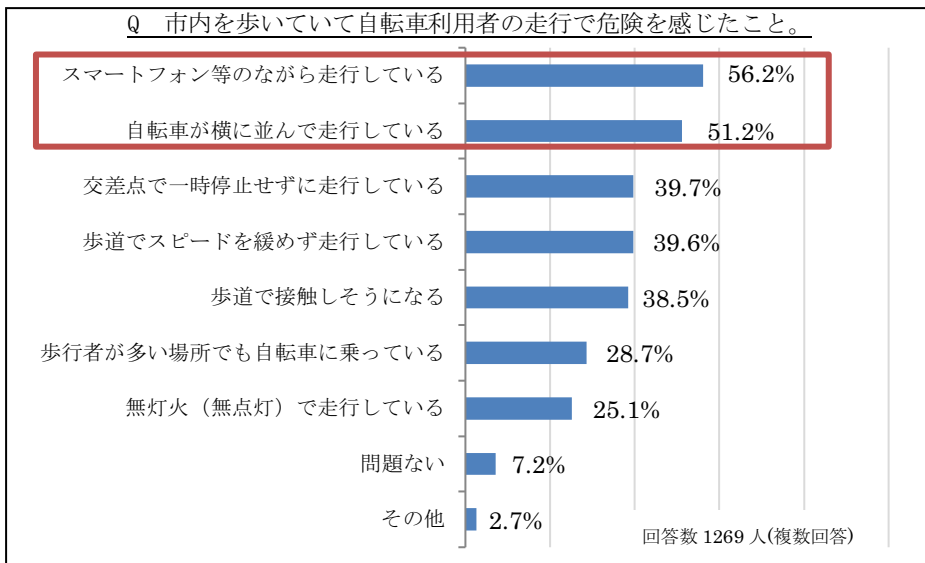
ニーズ 5-1：自転車の交通ルールやマナーの周知を継続的に行うことが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・小学生だけではなく、幅広い世代を対象とした自転車安全教室を実施した方が良い。
- ・自転車の通行ルールやマナー啓発は、継続的に実施していく必要がある。

【アンケート調査結果】

▼ 歩行者は、自転車利用者の交通ルールやマナーが守られていないと感じています。





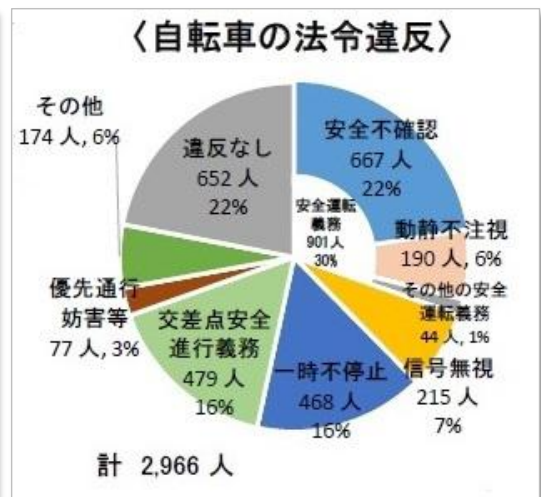
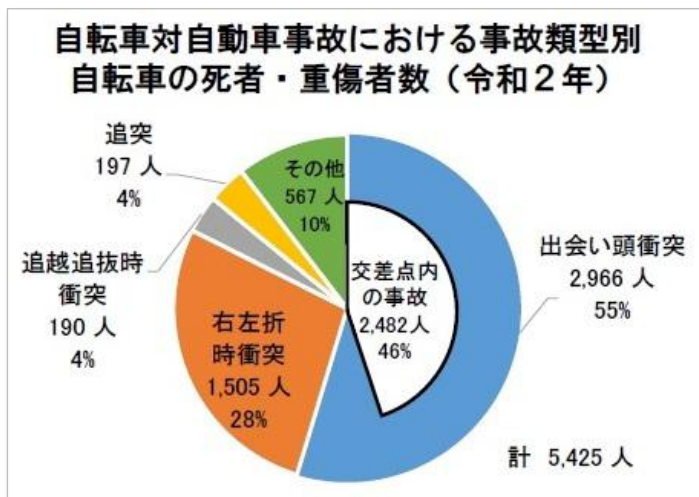
ニーズ 5-2：定期的な自転車の安全点検や損害賠償保険の加入など、安全な自転車の利用が求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・自転車を安全に利用するためには、定期的に自転車を点検することが大切。
- ・自転車を購入する時は、安全基準を満たした自転車を購入することが大切。
- ・交通ルールやマナーを守るだけでなく、安心して自転車に乗ることができるように損害賠償保険への加入勧奨が重要。

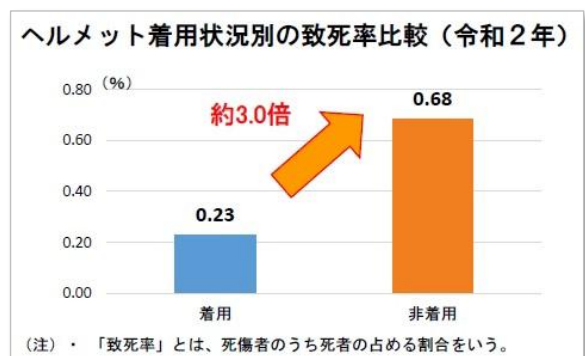
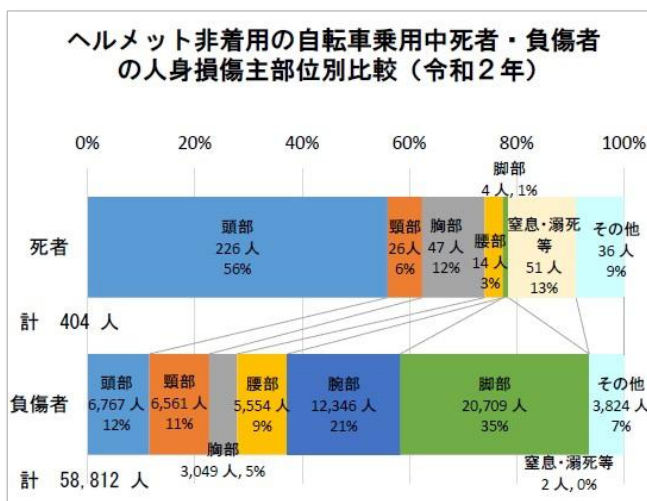
【コラム】

- 自転車運転中における自動車との出会い頭衝突事故の内、死傷した人の約78%が法令違反をしていることから、交通ルールやマナーを遵守することにより、自転車交通事故の減少が期待されます。
- また、ヘルメット非着用者の致死率が、着用者と比較して約3倍となっていることから、ヘルメットの着用率を向上させることにより、死亡者の減少が期待されます。



「自転車対自動車事故における事故種類別自転車の死者・重傷者数」の内
出会い頭衝突事故の自転車の法令違反の状況

※自転車が第1当事者又は第2当事者で死亡・重症となった人数を計上



出典：令和2年における交通事故の発生状況等について（警察庁）



6： 自転車の走行環境

ニーズ 6-1： 自転車が安全に安心して通行できる走行環境が求められています。

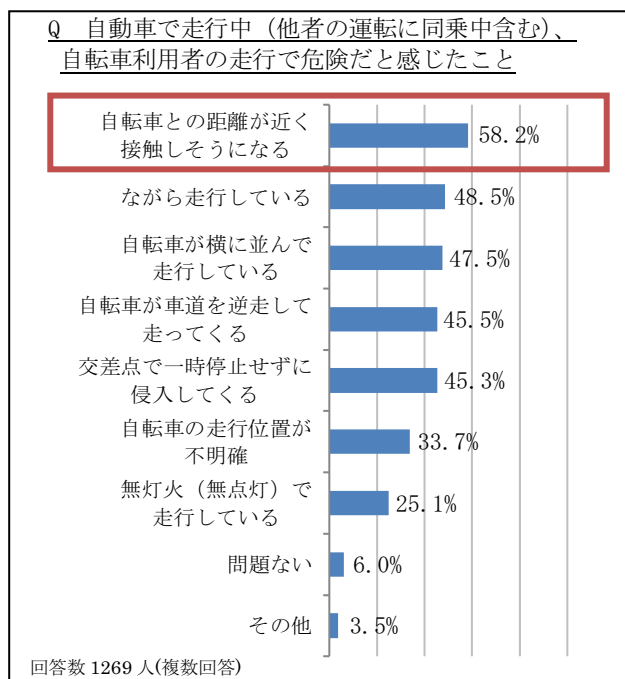
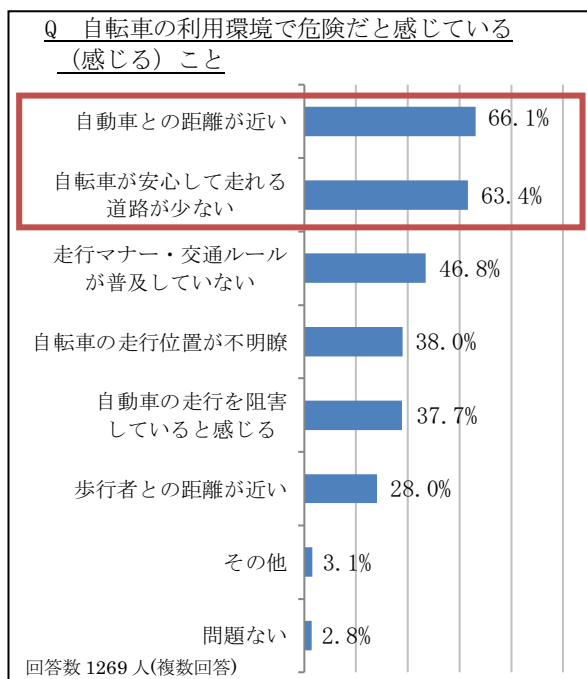
【ヒアリング調査での意見】

- ・市内の道路は、大型車の通行が多く危険なため、自転車と自動車を利用するエリアのすみ分けが必要。
- ・ドライバーが自転車の走行位置を認識できる環境を整備することで、自転車と自動車の共存の理解が深まる。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車利用者は、自動車との距離が近いなど、安全に走れる道路が少ないと感じています。

▼ 自動車運転者は、自転車との距離が近いことに、危険を感じています。



【コラム】

○ 自転車走行空間を整備することにより、自転車関連の事故が減少するなど一定の効果을上げています。

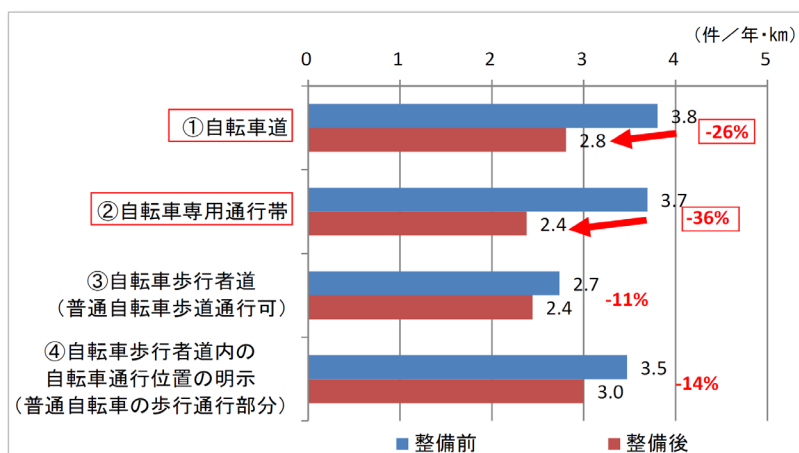


図37 自転車関連交通事故発生件数の整備前後の比較

出典：平成26年度政策レビュー
結果(評価書) (国土交通省)



7： 駐輪環境

ニーズ 7-1：安全で快適な駐輪環境の維持や盗難防止対策の強化が求められています。

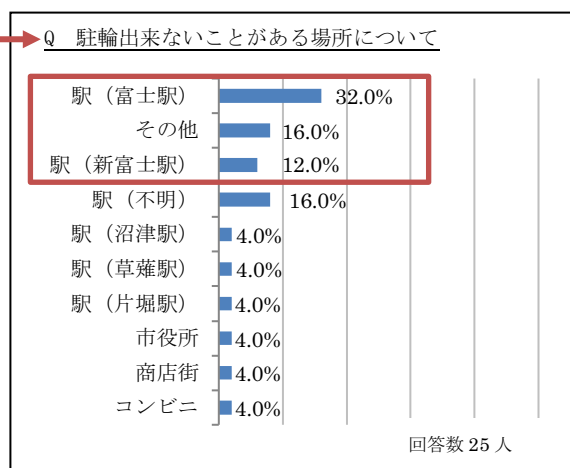
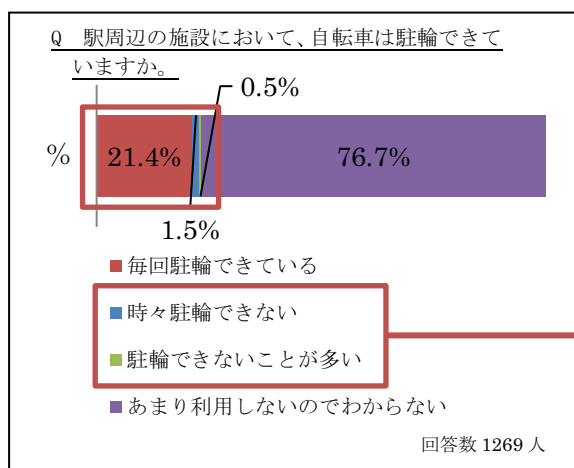
【ヒアリング調査での意見】

- ・大切な自転車を保管する、安全な駐輪環境があることが重要。
- ・駐輪場を整理することにより、駐輪台数の確保や盗難防止の効果が高くなる。

【アンケート調査結果】

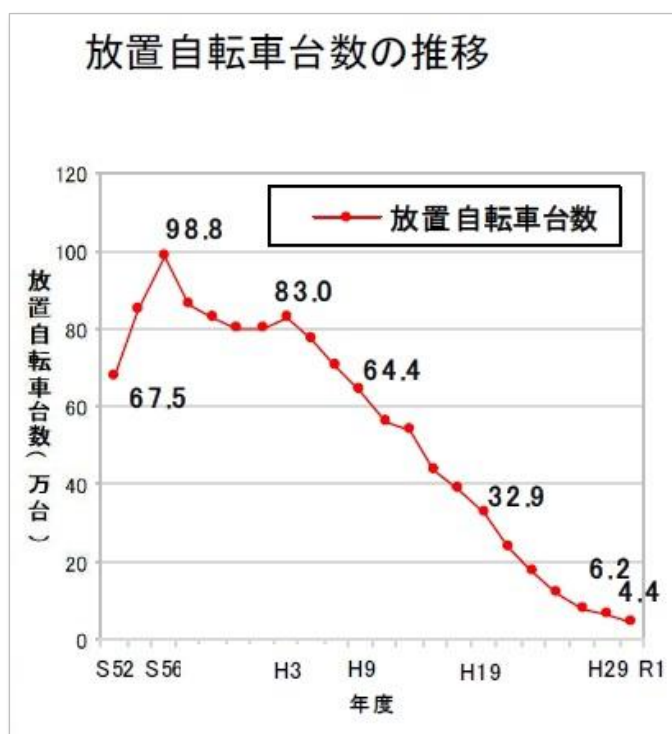
▼ 駐輪しやすい環境が整いつつあります。

▼ 富士駅や新富士駅など、一部の駐輪場で駐輪できない場合があります。



【コラム】

- 自転車法の制定や駅周辺の駐輪場の整備により、放置自転車は昭和 56 年をピークに全国的に減少していますが、駅周辺には依然として放置自転車があります。





8： 日常における自転車の利用

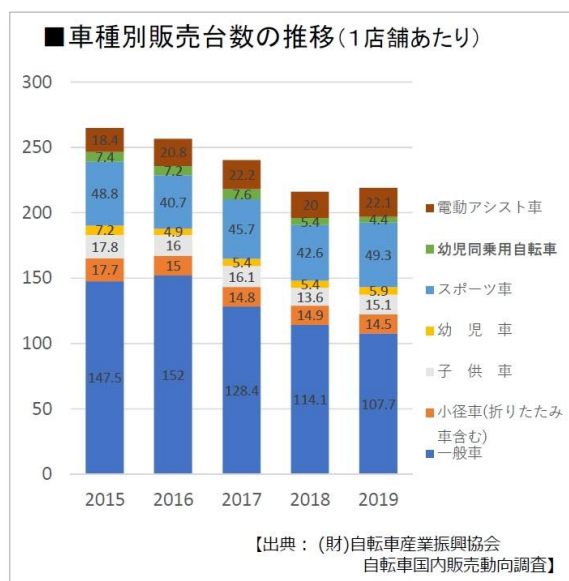
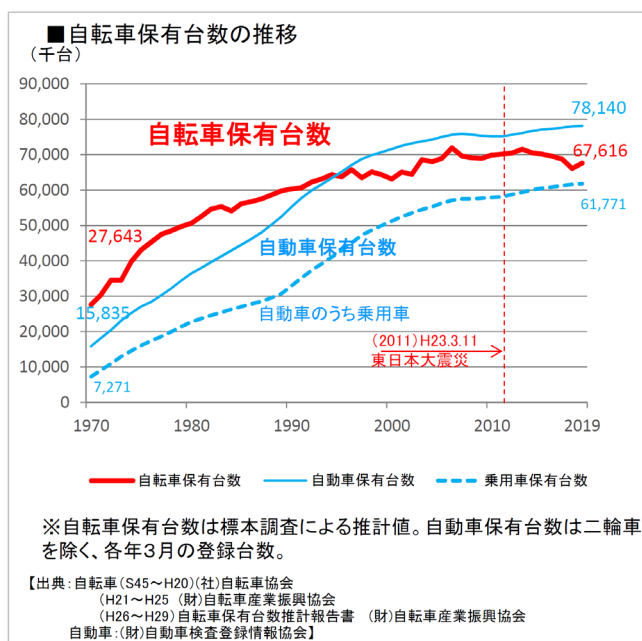
ニーズ 8-1：市民が自転車に興味を持つきっかけづくりや気軽に自転車を利用する環境を作っていくことが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

- ・自転車の活用を推進していくためには、まず、市民の自転車への関心を高めていくことが重要。
- ・自転車競技大会等の開催やE-BIKEなどの普段乗る機会が少ない自転車の乗車体験等のイベントを開催することにより、自転車への興味を持つきっかけになる。
- ・サイクリストの受け入れ環境を整えるには、市民が自転車の魅力を知っていることが重要。
- ・市民の自転車の利用促進を図るには、日常生活において自転車の利用しやすい環境を整える必要がある。
- ・本市でもシェアサイクルを導入すれば、手軽に利用できる移動手段として、市民の利用が多くなる可能性がある。
- ・市民が、サイクリングを楽しめるコースがいくつかあると良い。
- ・「レバンテフジ静岡」のライドイベントがあれば、魅力が高いイベントになる。

【コラム】

- 近年、自転車の保有台数は増加傾向にあり、乗用車の保有台数と同じ程度になっています。また、スポーツタイプの自転車や電動アシスト自転車の販売台数が伸びています。



出典：令和2年度第1回自転車の活用推進に向けた有識者会議
資料 自転車の活用に関する現状 (国土交通省)



9：健康増進と環境負荷の低減

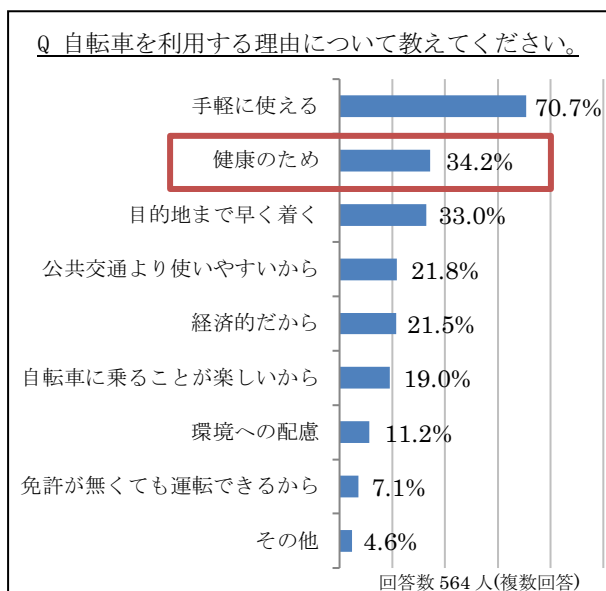
ニーズ 9-1：自転車を活用した健康づくりや環境負荷の低減のため、自転車通勤に注目が集まっています。

【ヒアリング調査での意見】

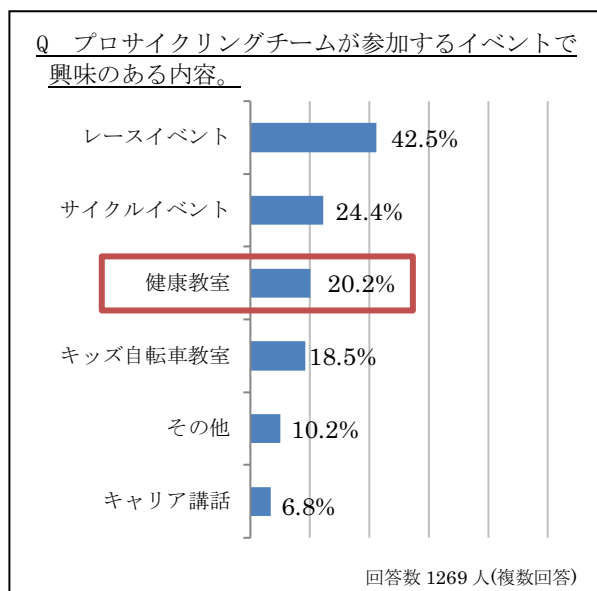
- ・自動車通勤から自転車通勤に切り替えることにより、通勤を利用して健康増進を行える。
- ・自転車通勤は、ガソリン代や駐車場代がかからないため、経済的。
- ・自転車通勤をする人が増えれば、企業にとっても健康経営や環境への配慮などの観点からイメージアップにつながり、メリットがある。
- ・環境に配慮し、過度に自動車に頼らないことも重要。

【アンケート調査結果】

▼ 自転車を利用する理由では、「手軽に使える」に次いで、「健康のため」に利用する方が多いです。

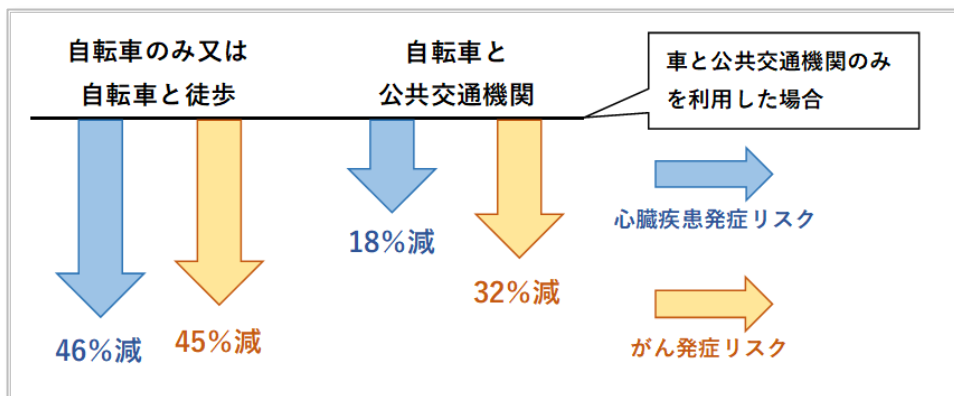


▼ 市民が、プロサイクリングチームが参加するイベントで興味があるのは、「レースイベント」、「サイクルイベント」に次いで、「健康教室」となっています。



【コラム】

○ イギリスの研究によると、自転車通勤を利用することで、心臓疾患やがんの発症リスクが減少することが明らかになっています。



車と公共交通機関のみを利用して通勤する場合と自転車を利用する場合の心臓疾患とがん発症リスク

参考：BMJ2017;357:j1466.



10： 自転車を活用した防災

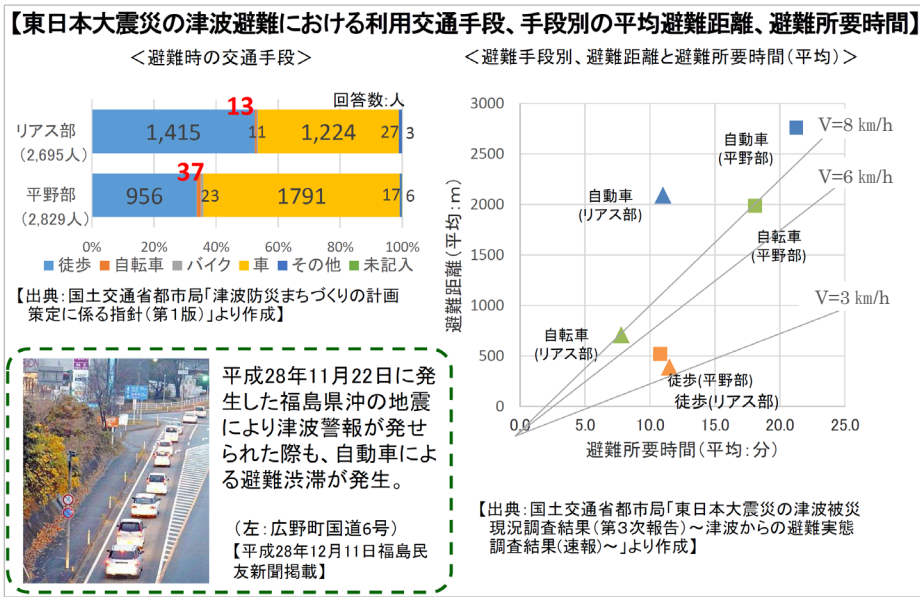
ニーズ 10-1： 防災に自転車を活用することが求められています。

【ヒアリング調査での意見】

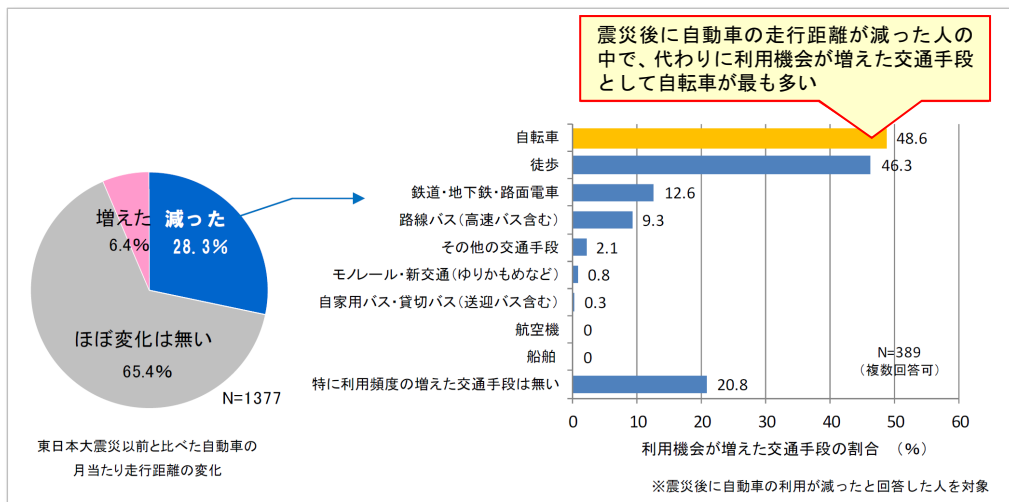
- ・ 自転車は、災害時の被害状況の把握などに有効な手段となる。
- ・ 平坦な場所では、自転車による避難を検討することも大切。

【コラム】

- 災害発生直後に自動車の渋滞が懸念される中、自転車による避難で、いち早く避難が完了している事例があります。また、東日本大震災後に利用が増えた交通手段では、自転車が最も多い結果になっています。



出典：自転車の活用の推進に関する現状の取組みについて（国土交通省）



東日本大震災後に利用機会が増えた交通手段

出典：大震災による行動の変化に関する地域別アンケート調査（1回目）（日本モビリティ・マネジメント会議）



2. 本市の自転車に関する現状

ウェブアンケート調査やヒアリング調査から得られた 10 項目のニーズに対し、本市の自転車に関する現状を調査し、整理しました。

1: 自転車競技

現状 1-1: プロサイクリングチームの活動拠点がありません。

地域密着型のプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」が、本市に拠点事務所を設置し、活動しています。また、「レバンテフジ静岡」は、本市と「サイクルスポーツを通じた地域づくり」の連携協定（令和 2 年 8 月）を締結し、地域に密着した様々な活動が展開されることが期待されています。

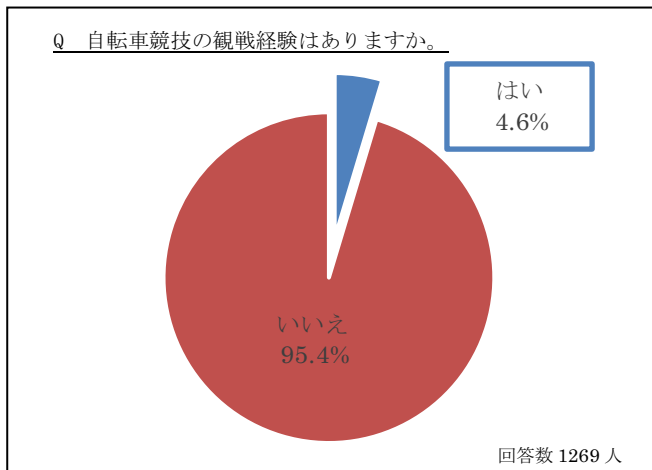


地域イベントに参加するレバンテフジ静岡

提供: レバンテフジ静岡

現状 1-2: 市民は、自転車競技大会の観戦経験がほとんどありません。

県内では、自転車競技大会の開催はありますが、市内では自転車競技大会の開催実績はありません。また、アンケート調査では、自転車競技を観戦したことがあると回答した人は、4.6%と少ない状況です。



「ウェブアンケート調査」
結果より



2: サイクルスポートに関する人材の育成

現状 2-1: 本市出身の自転車競技選手や自転車競技の指導者が少ないです。

本市は、競輪競技の認知度は高いですが、その他の自転車競技の認知度が低い状況です。

また、自転車競技のクラブやジュニアチームがないため、自転車競技に触れる機会が少なく、自転車競技選手が少ない状況です。また、自転車競技の指導者も少ない状況です。



競輪の渡邊選手（左）と鈴木選手（右）

資料: 広報ふじ (シティプロモーション課)

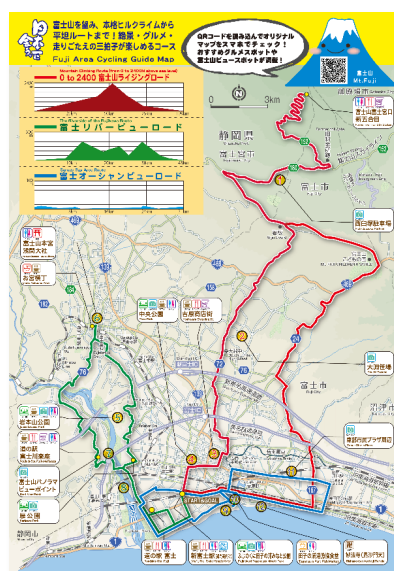
3: サイクリングコース

現状 3-1: 大規模なサイクリングコースからつながる市内のルート of 整備がされていません。

インバウンド需要が期待される、駿河湾沿いに設定されたナショナルサイクルルートの「太平洋岸自転車道」や富士山を周遊する県モデルルートの「富士山一周サイクリングルート」はありますが、両方のコースからつながる市内のサイクリングルートの整備がされていないため、サイクリストを引き込む仕組みが整っていません。



出典: 静岡県自転車活用推進計画

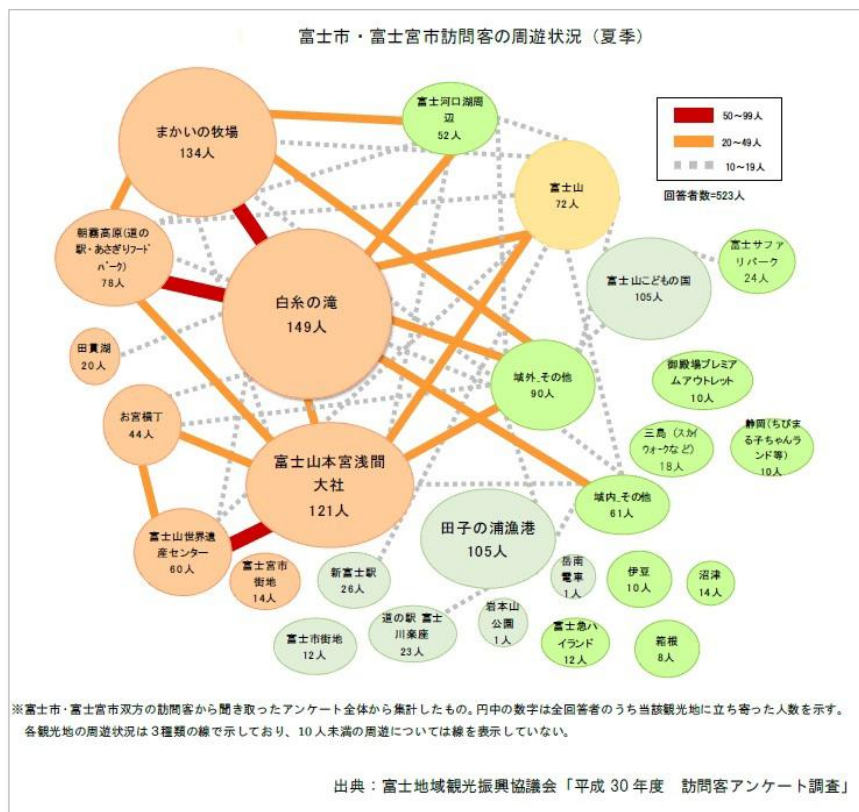


出典: 富士エリアサイクリングガイドMAP
(一社)富士山観光交流ビューロー



現状 3-2：地域の観光資源をつなぐ仕組みが不足しています。

世界文化遺産に登録された富士山や駿河湾など魅力的な景観や観光資源等を有していますが、十分に活かされておらず、観光客の通過地域となっています。観光資源をつなぐ仕組み（サイクリングルートやコース）も不足しているため、訪問客の周遊があまり見られません。



現状 3-3：魅力的なロケーションや地域特有の特産品が多数あります。

本市は、富士山、岩本山公園、富士川、大淵笹場、須津川溪谷、田子の浦漁港、駿河湾、工場夜景など、魅力的な景観を多く有しています。

また、田子の浦しらす、キウイ、ブルーベリー、イチジク、緑茶やほうじ茶、富士つけナポリタン、富士山ひらら等の地域特有の特産品も多く有しています。



田子の浦港からの富士山と工場夜景

提供：宮崎泰一氏



大淵笹場



田子の浦しらす



4： サイクリストの受入環境

現状 4-1：交通インフラ（東名、新東名、新幹線）が整っており、東西都市圏からのアクセスが良好な地域です。

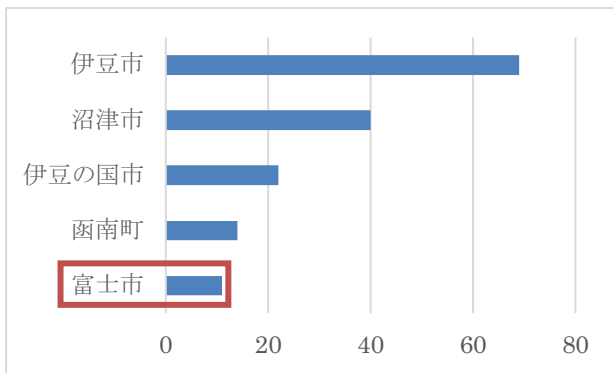
本市は、東海道新幹線の駅である新富士駅や新東名高速道路の新富士IC（インターチェンジ）、東名高速道路の富士ICなどの交通インフラが整っており、東西都市圏からのアクセスが良好な地域です。また、外国人観光者に人気のあるゴールデンルート上にあることも強みです。



現状 4-2：サイクリストに良好なサービスを提供する観光施設が十分に整っていません。

ホテルの新設が進み、地域全体の宿泊可能客室数は増えていますが、自転車を室内に持ち込めるなどのサイクリストが宿泊しやすいサービスのあるホテルや旅館が十分にありません。また、サイクルスタンド（サイクルラック）の設置やバイクピットの機能を有する飲食店も十分でない状況です。

自転車を持たない人が、自転車を利用して市内を周遊するレンタサイクルのサービスも新富士駅などの限られた場所にしかありません。



静岡県東部・伊豆エリアバイクピットの設置数

参考：静岡県観光公式ウェブサイトハローナビ静岡



電動アシスト自転車

新富士駅観光案内所 富士山レンタサイクル

提供：（一社）富士山観光交流ビューロー



5： 自転車の交通ルールやマナー

現状 5-1： 自転車安全教室を定期的を実施しています。

本市では、学校の協力により、小学1年生、小学4年生、中学1年生を対象とした交通安全教室を各学校で実施しています。特に小学4年生の交通安全教室では、自転車の実技指導や交通ルールの講話等を中心に行い、自転車交通ルールの周知を図っています。

また、高等学校では、TSマーク貼付の推進など、安全に自転車を利用できるように定期的な点検整備の体制を整えており、安全対策に継続的に取り組んでいます。



自転車交通安全教室の様子

TS マーク

自転車安全整備士が点検整備し、安全・安心な普通自転車であることを確認して貼付するマーク。傷害保険及び賠償責任保険が附帯されている。 ※TS …Traffic Safety



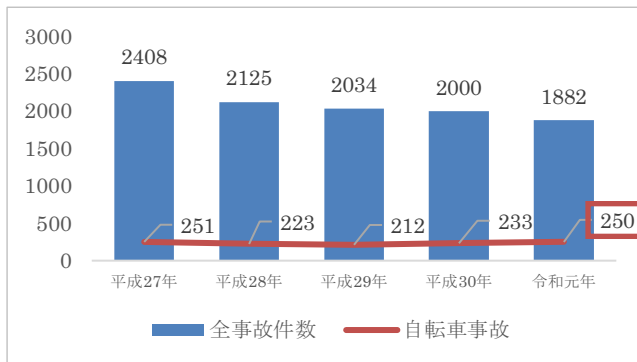
TS マーク

出典：（公財）日本交通管理技術協会ウェブサイト
(<https://www.tmt.or.jp/>)

現状 5-2： 交通事故に占める自転車事故の割合は増加傾向にあります。

交通事故は全体的に減少傾向ですが、自転車事故の割合は増加傾向です。自転車事故の類型別では、自転車と自動車など車両相互の事故が多くなっています。

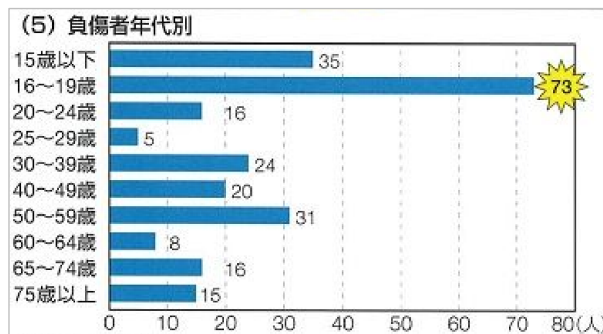
また、年代別自転車事故負傷者件数は、高校生が最も多くなっています。



年代別事故件数

種類	区分	件数	前年比	死者	前年比	負傷者	前年比
人対車	計	250	17	2	±0	243	19
	対背面通行中		-4				
	横断	1				1	1
車対車	横断						
	その他	-1					
車両相互	その他	5	5			1	1
	正面衝突	4	-3			3	-4
	追突	-1					-1
	出会い頭	132	13			132	14
	追越等	8	2			8	2
	右左折	84	11	1		83	11
	その他	9	-8			9	-8
車両単独	7	3	1		6	3	

事故分類別



年代別自転車事故負傷者件数

出典：令和2年交通のあらまし（静岡県警察 富士警察署）

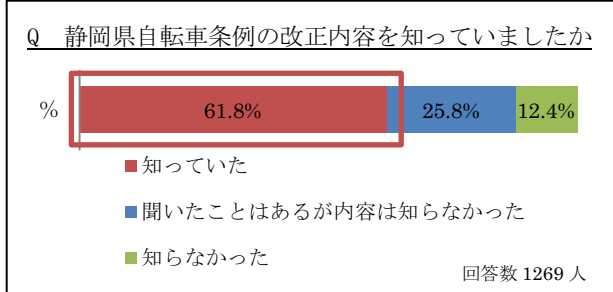
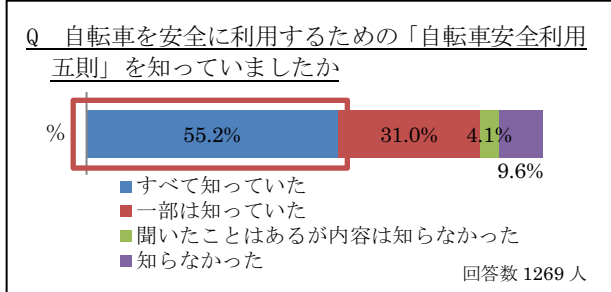
※「年代別事故件数」は「令和2年交通のあらまし」より作成



現状 5-3：法令違反による自転車事故が多く見られます。

自転車の基本的なルールである自転車安全利用五則や静岡県自転車条例の改正による保険加入の義務化などは、一定の方々に認知されていますが、一方で認知していない方々も多く存在しています。

自転車事故の違反別の割合では、交差点での安全確認不足などの安全運転義務違反が多くみられます。



「ウェブアンケート調査」結果より

(7) 違反別（自転車の原因）

違反	区分	当事者数
計		254
信号無視		3
通行区分	右側	8
	歩道等	2
交差点右折		1
優先通行		1
交差点安全運転義務		24
横断歩行者妨害等		1
徐行場所		2
一時停止		16
自転車通行方法		1
安全運転義務	ハンドル・ブレーキ操作	4
	脇見運転	6
	動静注視	39
	安全確認	63
違反なし等		83

自転車全体の違反別当事者数

(6) 違反別（高校生の原因）

違反	区分	当事者数
計		109
信号無視		2
通行区分	右側	2
	歩道	1
交差点安全運転義務		7
横断歩行者		1
一時停止		4
ブレーキ操作		1
脇見運転		3
動静注視		15
安全確認		20
違反なし等		22
自動車二輪車	交差点安全運転義務	1
歩行者	違反なし等	27
	違反なし等	3

高校生の違反別当事者数

出典：令和2年交通のあらまし（静岡県警察 富士警察署）

6：自転車の走行環境

現状 6-1：一部の区間では自転車走行空間の整備がされていますが、十分ではありません。

本市では、「富士市自転車利用総合計画(H23)」の施策により、県道鷹岡富士停車場線や臨港富士線の自転車走行空間の整備がされましたが、その他の道路では整備が進められていません。



県道鷹岡富士停車場線(富士駅付近)



臨港富士線(富士市役所付近)

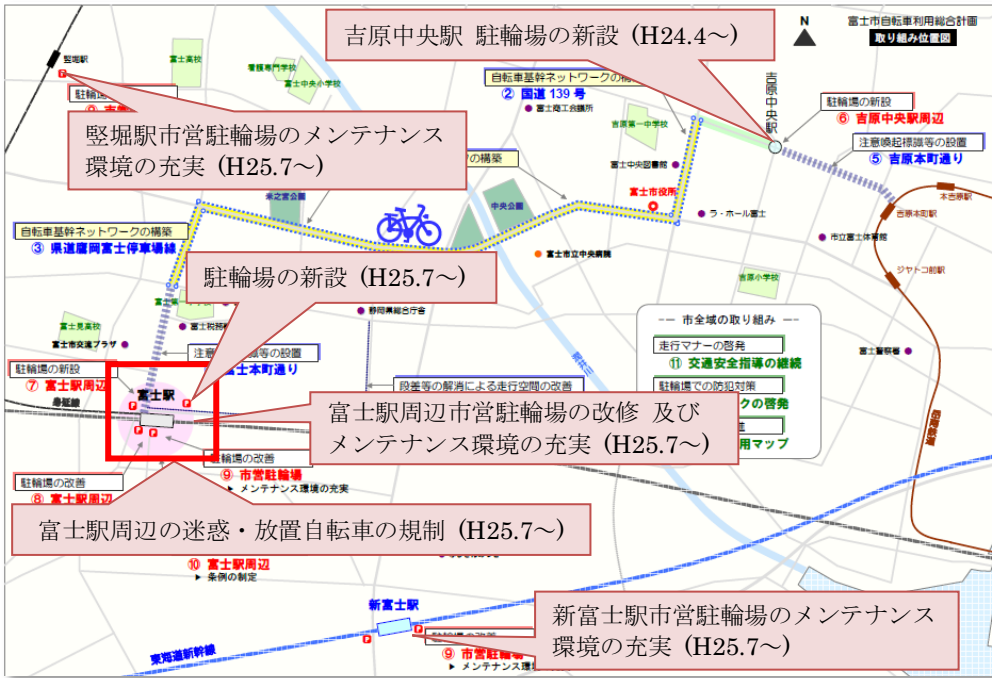


7： 駐輪環境

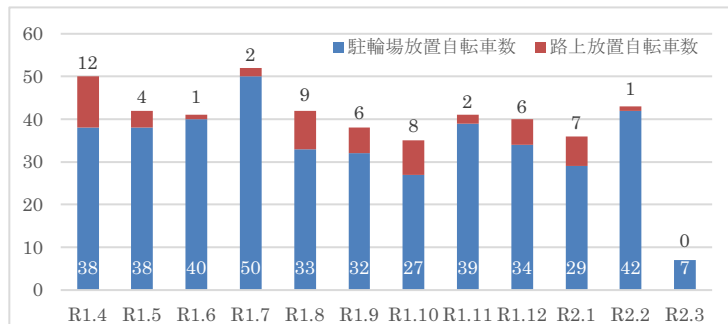
現状 7-1：一部の区域では駐輪環境が改善されています。

駐輪場の改修や新規駐輪場の整備、放置自転車への規制強化等により、富士駅周辺などの一部の区域では、駐輪環境が改善されています。

刑法犯認知件数は減少傾向にあります。また、自転車盗被害は、毎年一定数の認知があります。



富士市自転車利用総合計画 取り組み位置図



令和元年度の放置自転車台数

年	空き巣・忍込み (件)	自転車盗 (件)	万引き (件)	自動車盗 (件)	車上ねらい (件)	部品ねらい (件)	オートバイ盗 (件)
平成30	73	159	171	15	116	58	51
令和元	51	181	164	18	143	22	21
令和2	46	90	159	13	96	26	12

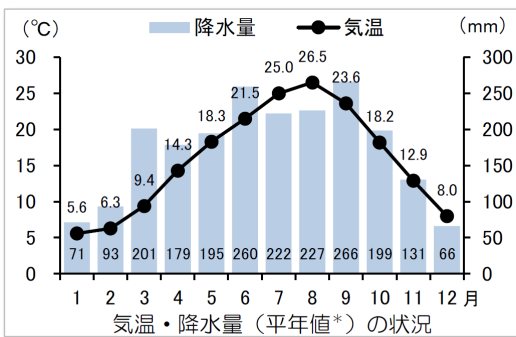
参考：「身近な犯罪発生状況～令和2年版 犯罪白書」（富士防犯協会・富士警察署）



8： 日常における自転車の利用

現状 8-1：本市は自転車利用に適した気候と言えます。

本市は、一年中温暖な気候のため、快適に過ごすことができます。冬は晴天日が多く、市街地では雪が降ることはほとんどないため、自転車利用に適した気候と言えます。

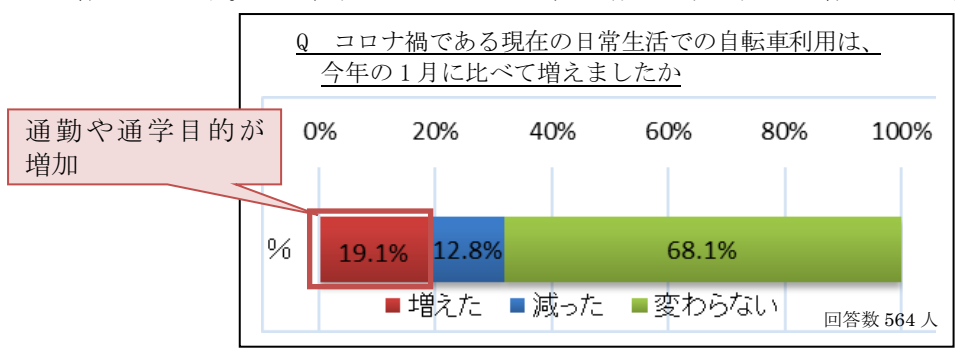


本市域の大半は、海の影響を受けて温暖湿潤な海洋性気候

参考：気象庁ウェブサイト

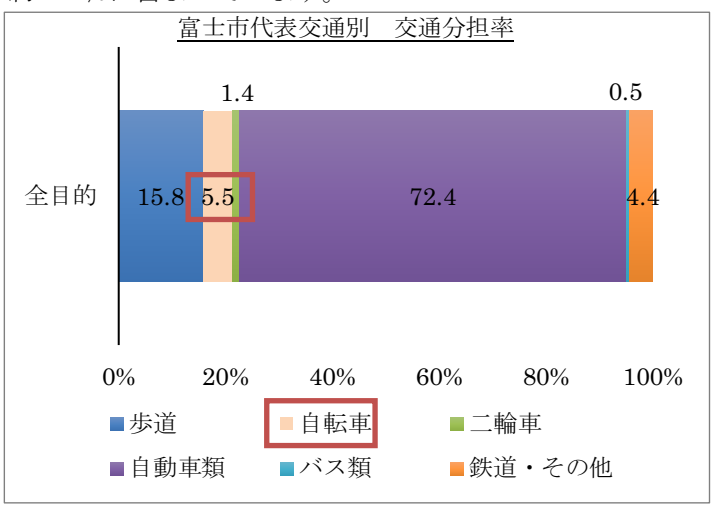
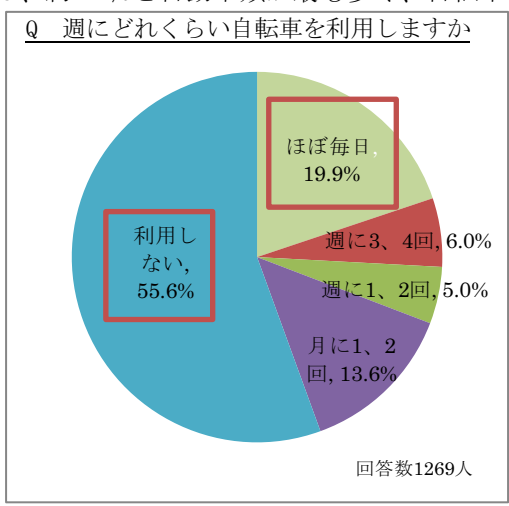
現状 8-2：新型コロナウイルス感染症の影響により自転車の利用頻度が増加しています。

ウェブアンケート調査の結果では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に比べ、約20%の人の自転車利用が増えています。また、利用の目的別では、通勤や通学の利用が増えている状況です。



現状 8-3：習慣的に自転車を利用していない人が多い状況です。

習慣的にほぼ毎日自転車を利用している市民は、約20%と少なく、自転車を利用しない市民は、約56%と多くなっています。また、「第2回岳南都市圏パーソントリップ調査」による富士市代表交通別分担率では、約72%と自動車類が最も多く、自転車は約5.5%に留まっています。



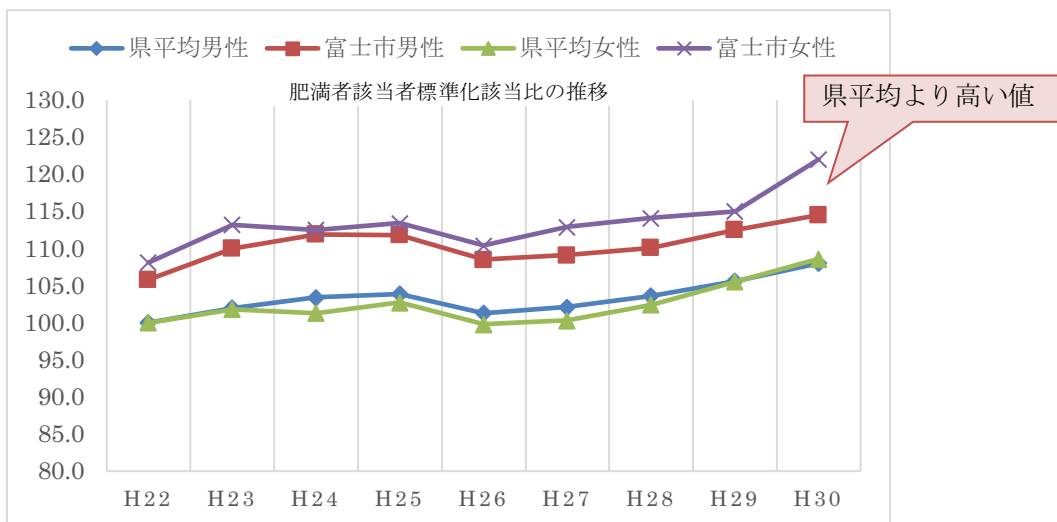
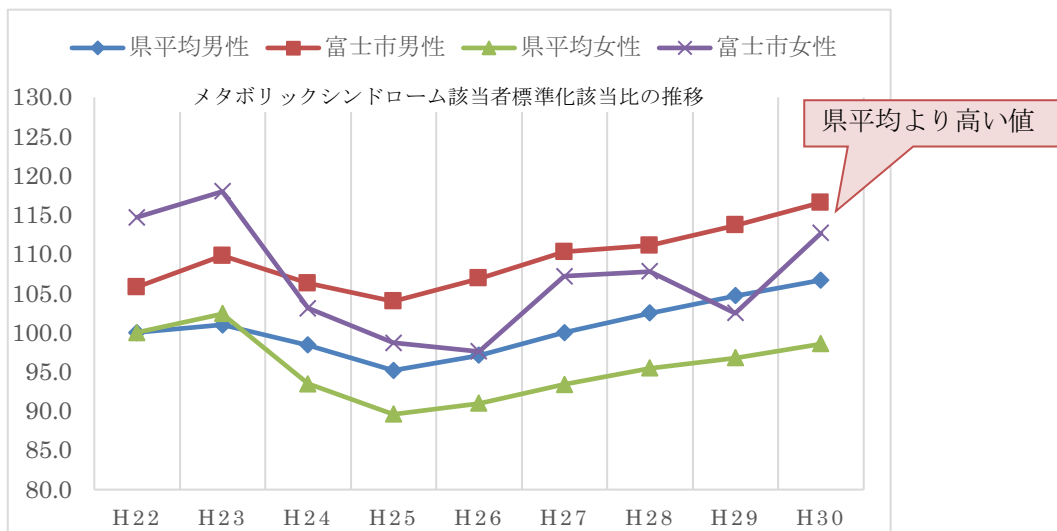


9：健康増進と環境負荷の低減

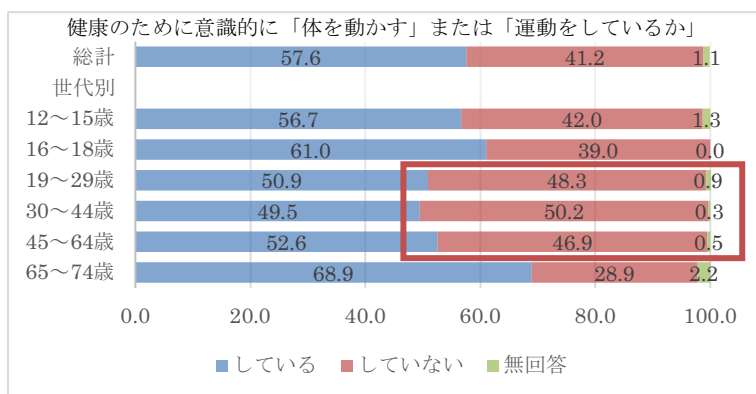
現状 9-1：肥満者等の割合が県平均より高い傾向にあります。

本市のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び肥満者の人の割合は、男女ともに県平均より高い値となっています。

また、健康のために運動をしていたり、意識的に体を動かしていたりしている市民の割合では、男女ともに19歳から64歳までの割合が低い状況です。



参考：「静岡県平成30年度特定健診・特定保健指導に係る報告書(70万人データ)」
 ※標準化当該比は、H22 静岡県全体の結果を基準(100%)とし、当該年度富士市の結果を比較した値



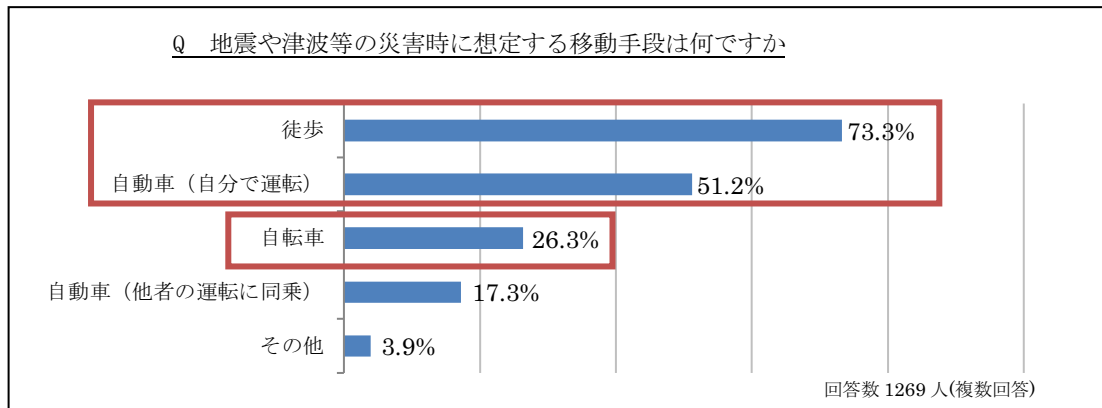
参考：
 令和元年度富士市市民健康意識調査



10： 自転車を活用した防災

現状 10-1： 災害時には徒歩や自動車を想定した移動手段が多くなっています。

本市では、徒歩による避難を推進しているため、徒歩で避難する人が多い状況です。



「ウェブアンケート調査」結果より



1. 本市の自転車活用の課題

第2章に挙げる自転車に関するニーズや現状を踏まえ、自転車の利用に係る課題を明らかにしました。

第2章1. 自転車に関するニーズ	第2章2. 自転車に関する現状
1. 自転車競技 1-1 トップアスリートを間近で見られる自転車競技大会の開催によるまちの賑わいづくりが求められています。 1-2 市民が参加できる自転車競技大会の開催が求められています。	1-1 プロサイクリングチームの活動拠点があります。 1-2 市民は自転車競技大会の観戦経験がほとんどありません。
2. サイクルスポーツに関する人材の育成 2-1 自転車競技を支える選手や指導者の育成、安全な練習環境の確保が求められています。 2-2 自転車競技大会等を支えるボランティアの育成が求められています。	2-1 本市出身の自転車競技選手や自転車競技の指導者が少ないです。
3. サイクリングコース 3-1 地域資源を活用した魅力あるサイクリングコースの充実が求められています。 3-2 市内外に向けたサイクリングの情報発信が求められています。	3-1 大規模なサイクリングコースからつながる市内のルートの整備がされていません。 3-2 地域の観光資源をつなぐ仕組みが不足しています。 3-3 魅力的なロケーションや地域特有の特産品が多数あります。
4. サイクリストの受入環境 4-1 サイクリストに喜ばれるサービスやサイクリストが利用しやすい宿泊施設や飲食店などの充実が求められています。 4-2 観光客が楽に市内を周遊できる電動アシスト自転車の貸出サービスなどが求められています。	4-1 交通インフラが整っており、東西都市圏からのアクセスが良好な地域です。 4-2 サイクリストに良好なサービスを提供する観光施設が十分に整っていません。
5. 自転車の交通ルールやマナー 5-1 自転車の交通ルールやマナーの周知を継続的に行うことが求められています。 5-2 定期的な自転車の安全点検や損害賠償保険の加入など、安全な自転車の利用が求められています。	5-1 自転車安全教室を定期的実施しています。 5-2 交通事故に占める自転車事故の割合は増加傾向にあります。 5-3 法令違反による自転車事故が多く見られます。
6. 自転車の走行環境 6-1 自転車が安全に安心して通行できる走行環境が求められています。	6-1 一部の区間では自転車走行空間の整備がされていますが、十分ではありません。
7. 駐輪環境 7-1 安全で快適な駐輪環境の維持や盗難防止対策の強化が求められています。	7-1 一部の区域では駐輪環境が改善されています。
8. 日常における自転車の利用 8-1 市民が自転車に興味を持つきっかけづくりや気軽に自転車を利用する環境を作っていくことが求められています。	8-1 本市は自転車利用に適した気候と言えます。 8-2 新型コロナウイルス感染症の影響により自転車の利用頻度が増加しています。 8-3 習慣的に自転車を利用していない人が多い状況です。
9. 健康増進と環境負荷の低減 9-1 自転車を活用した健康づくりや環境負荷の低減のため、自転車通勤に注目が集まっています。	9-1 肥満者等の割合が県平均より高い傾向にあります。
10. 自転車を活用した防災 10-1 防災に自転車を活用することが求められています。	10-1 災害時には徒歩や自動車を想定した移動手段が多くなっています。

図表 3-1 自転車活用の課題の整理



自転車活用の課題

課題1：自転車競技を活用した地域の新たな魅力づくり

- 地域密着型プロサイクリングチームの活動拠点である強みを有していますが、十分に活かされていません。自転車競技（サイクルスポーツ）を活用し、まちの活性化を図り、市民の自転車に対する関心を高めるためには、サイクルスポーツを「みる」、「する」機会の創出が必要です。

課題2：サイクルスポーツ振興を支える人材の育成

- サイクルスポーツの競技力の向上を図るための競技者や指導者及び競技大会やイベント等をサポートするボランティアなど、「ささええる」人材の確保や育成をしていくことが必要です。サイクルスポーツを楽しめる環境や練習環境を確保していく取組も必要です。

課題3：サイクリングコースと情報発信の充実

- 観光客やサイクリストを市内に引き込み、長く滞在したいと思わせる仕組み作りが必要です。観光客の周遊性を向上させる観光資源をつなぐサイクリングルート・コースの設定・整備が必要です。市内外へ本市の魅力について情報発信する機会の充実が必要です。

課題4：サイクリストの受入環境の充実

- 観光客やサイクリストを受け入れるために、良好な観光サービスを提供する宿泊施設や商業施設等の充実が必要です。市内のサイクリングコースの充実と併せて、手ぶらでも自転車で市内を周遊できるレンタサイクルのサービスの拡充も必要です。

課題5：自転車の交通ルール及びマナーの遵守の徹底

- 交通事故に占める自転車事故の割合が増加傾向であることや事故の多くは法令違反によるものであるため、自転車交通ルール及びマナーの継続的な啓発が必要です。万一の事故の備えのため、定期的な自転車の安全点検や損害賠償保険の加入などの啓発も必要です。

課題6：安全な自転車走行環境の構築

- 歩行者と自転車、自転車と自動車の事故が多いことから、歩行者や自転車が安全に移動できる道路整備を進める必要があります。歩行者や自転車運転者のニーズを見極めながら、円滑な自転車走行空間ネットワークの構築を図っていく必要があります。

課題7：安全で快適な駐輪環境の向上

- 安全で快適に利用できる駐輪場を維持していくためには、引き続き施設の保全や放置自転車の対策、駐輪場の整理整頓などを実施していくことが必要です。自転車の盗難が増えていることから、駐輪場の防犯対策を強化するとともに、自転車利用者への防犯意識を高める啓発が必要です。

課題8：自転車の利用を促進するための意識の改革

- 自転車を活用している市民が少なく自転車に対する関心が低いため、市民の自転車に対する興味を高めるきっかけづくりが必要です。市民が主体的に自転車の利用ができるように、日常生活で気軽に自転車に乗れる環境づくりも必要です。

課題9：自転車を活用した健康づくりと環境負荷の低減

- 19歳から64歳までの市民の運動に対する意識が低いため、日常生活の中で簡単に健康づくりが行える自転車通勤を推進していく必要があります。また、健康経営や環境負荷の低減を目的として、企業が主体的に自転車通勤に取り組めるように働きかけを行っていくことも必要です。


課題10：自転車を活用した防災

- 自転車は災害発生後の被害状況の把握などに有効な手段となりますが、積極的な活用がされていないため、防災への活用を推進していく必要があります。災害発生後の情報収集や伝達など、自転車を活用した災害時の危機管理体制の強化を図っていく必要があります。




1. 本計画の目指す姿と目標

本市の自転車を取り巻く現状やニーズ、課題を踏まえ、本計画による本市の目指す姿を『自転車に乗ることが楽しくて 笑顔になるまち ふじ』とし、目指す姿の実現に向け、「Ⅰ. サイクルスポーツ」、「Ⅱ. サイクルツーリズム」、「Ⅲ. 安全安心」、「Ⅳ. 裾野拡大」の4つの目標を設定しました。

課題	目指す姿
課題1 自転車競技を活用した地域の新たな魅力づくり	<div data-bbox="778 510 1401 645" style="background-color: #00728f; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 『 自転車に乗ることが楽しくて 笑顔になるまち ふじ 』 </div> <div data-bbox="778 667 1401 801" style="padding: 10px;"> <p>本市において、自転車が多くの人に利用され始めると、いろいろな楽しみがまちに溢れ出します。</p> <p>例えば、「プロの選手が猛スピードで目の前を走り抜く迫力を体感」、「サイクリングで綺麗な富士山の景色や大自然の素晴らしさを体感」、「車と違うスピードで走るからこそ、発見できるまちの景色を体感」、「自転車に乗り始めると起こるうれしい変化を体感」など、自転車を利用することで、何か楽しくて、幸せになります。</p> <p>このため、本計画では、市民や観光客など、多くの人が本市で自転車を利用し、楽しむことができるまちを目指し、多様な取組を進めていきます。</p> <p>こうした取組が継続され、持続していくことで、地域振興が図られ、本市の活力が向上するとともに、楽しくて暮らしやすいまちが創られ、シビックプライドの醸成につながります。</p> <div data-bbox="820 1675 1358 2029" style="text-align: center;">  </div> </div>
課題2 サイクルスポーツ振興を支える人材の育成	
課題3 サイクリングコースと情報発信の充実	
課題4 サイクリストの受入環境の充実	
課題5 自転車の交通ルール及びマナーの遵守の徹底	
課題6 安全な自転車走行環境の構築	
課題7 安全で快適な駐輪環境の向上	
課題8 自転車の利用を促進するための意識の改革	
課題9 自転車を活用した健康づくりと環境負荷の低減	
課題10 自転車を活用した防災	

図表 4-1 本計画の目指す姿と目標



本計画の目標	方針
<p>目標Ⅰ. サイクルスポーツ振興による都市の魅力の向上</p> <p>自転車の競技大会等を継続的に開催することで、本市の魅力を高め、市の知名度の向上と自転車文化の定着を図り、訪れてみたいくなるまちを目指します。</p> <p>サイクルスポーツが活性化し、発展するよう、人材育成を推進していきます。</p>  <p>提供：レバンテフジ静岡</p>	<p>方針 1</p> <p>自転車競技等を活用した地域の新たな魅力づくりの推進</p> <p>方針 2</p> <p>サイクルスポーツ振興を支える人材の育成の推進</p>
<p>目標Ⅱ. サイクルツーリズム推進による地域活力の向上</p> <p>富士山や駿河湾、富士川などの自然を最大限活かした、魅力あるサイクリングの環境の構築を進めます。</p> <p>国内外のサイクリストを受け入れるため、滞在型観光を視野に入れた観光振興を進め、地域の魅力を高めます。</p>  <p>出典：国土交通省 GOOD CYCLE JAPAN ウェブサイト</p>	<p>方針 3</p> <p>魅力あるサイクリングコースの創出と情報発信の推進</p> <p>方針 4</p> <p>サイクリストの受入環境の構築</p>
<p>目標Ⅲ. 安全・安心に自転車を利用できる環境づくり</p> <p>自転車を安全に安心して利用できるように、安全で快適な駐輪環境や道路環境の確保に取り組みます。</p> <p>交通安全教育を目的として各種団体と協力し、市民の交通安全意識を高めていきます。</p>  <p>出典：国土交通省 GOOD CYCLE JAPAN ウェブサイト</p>	<p>方針 5</p> <p>市民の交通安全意識の向上と自転車の安全性の確保</p> <p>方針 6</p> <p>安全で快適な自転車走行環境の構築</p> <p>方針 7</p> <p>安全で快適な駐輪環境の確保</p>
<p>目標Ⅳ. 自転車利用の裾野拡大による市民生活の質の向上</p> <p>健康で充実した生活を送れるように、市民の健康意識を高め、自転車を利用した健康づくりを促進します。</p> <p>自転車の利用を促進し、自転車利用者や自転車の役割の拡大を図ることにより、環境負荷の低減や防災対策につなげます。</p>  <p>出典：国土交通省 GOOD CYCLE JAPAN ウェブサイト</p>	<p>方針 8</p> <p>日常における自転車の利用の促進</p> <p>方針 9</p> <p>自転車を活用した健康増進と環境負荷低減の推進</p> <p>方針 10</p> <p>自転車を活用した防災の推進</p>



1. 施策の体系

本市の自転車を取り巻く課題を踏まえ、本計画の4つの目標を実現するため、10の方針を設定し、その方針を推進していくための施策と、実施すべき具体的な取組を以下に整理します。

また、本計画の目標とSDGsに示された17のゴールとの関連性を整理し、SDGsの達成に向けて、本計画の取組が継続的に推進していくことを目指します。

目標	方針
目標Ⅰ. サイクルスポーツ振興による都市の魅力の向上  	1. 自転車競技を活用した地域の新たな魅力づくりの推進
	2. サイクルスポーツ振興を支える人材の育成の推進
目標Ⅱ. サイクルツーリズム推進による地域活力の向上  	3. 魅力あるサイクリングコースの創出と情報発信の推進
	4. サイクリストの受入環境の構築
目標Ⅲ. 安全・安心に自転車を利用できる環境づくり    	5. 市民の交通安全意識の向上と自転車の安全性の確保
	6. 安全で快適な自転車走行環境の構築
	7. 安全で快適な駐輪環境の確保
目標Ⅳ. 自転車利用の裾野拡大による市民生活の質の向上    	8. 日常における自転車の利用の促進
	9. 自転車を活用した健康増進と環境負荷低減の推進
	10. 自転車を活用した防災の推進



	施策	取組
	1-1 自転車競技大会及びイベント等の開催	1 トップカテゴリーの自転車競技大会の誘致及び開催 2 市民参加型の自転車競技大会等の開催 3 自転車競技及びパラサイクリングの普及啓発イベントの開催
	2-1 自転車競技者や指導者等の発掘、育成	4 アスリートを目指す契機となる機会の創出 5 自転車アスリート及びパラサイクリストの育成の支援 6 指導者の養成・確保・活用 7 競技大会等の運営を担うボランティアの育成
	3-1 魅力ある資源を活用したサイクリングコースの構築	8 富士山一周サイクリングルートと太平洋岸自転車道を接続するルートの構築 9 近隣市町と連携したサイクリングコースの形成 10 市内を気軽に周遊するサイクリングコースの設定及び整備 11 オリジナルの路面標示や案内看板等の整備
	3-2 市内外に向けたサイクリング等の情報の発信	12 サイクリングに関する情報発信 13 自転車関連情報発信ツールの多言語化の推進 14 海外に向けたサイクルツーリズムに関する情報発信
	4-1 サイクリストが快適に過ごすための環境の構築	15 サイクリスト受入機能を持つ施設やサービスの促進 16 観光客向けライドイベント等の促進 17 サイクリングガイドやサポートライダーの育成の促進 18 公共交通と自転車の連携を促進
	4-2 観光客等の周遊性の向上につながる機能の充実	19 E-BIKE等を活用したレンタサイクル事業の推進 20 シェアサイクルの導入検討
	5-1 自転車の交通ルール・マナー等の広報啓発	21 幅広い世代に対する安全教育の実施 22 自転車交通安全啓発ツールの活用による通行ルールの周知
	5-2 安全な自転車の利用促進	23 安全な自転車の購入や定期的な点検整備を促進するための広報啓発 24 自転車損害賠償保険の加入促進
	6-1 自転車走行空間の計画的な整備	25 自転車走行空間ネットワーク計画の策定
	7-1 駐輪場の利用環境の向上	26 駐輪需要に対応した駐輪環境の確保 27 防犯対策及び放置自転車対策の推進
	8-1 自転車に対する興味を持つためのきっかけづくり	28 自転車の魅力を発信する施設の整備 29 トップカテゴリーの自転車競技大会の誘致及び開催【取組1再掲】 30 自転車関連製品の開発事業者との連携
	8-2 日常生活で気軽に自転車を利用できる環境の確保	31 日常生活における自転車利用の促進 32 シェアサイクルの導入検討【取組20再掲】
	8-3 市民が気軽にサイクリングを楽しめる環境の構築	33 市内を周遊するサイクリングコースの設定及び整備【取組10再掲】 34 市内周遊のサイクリングコースを活用したライドイベントの開催
	9-1 自転車を活用した健康づくりと自転車通勤の推進	35 健康増進に関する広報啓発 36 自転車通勤等の推進
	10-1 災害時における自転車活用の推進	37 自転車を活用した災害時の危機管理体制の強化



2. 具体的な取組内容

目標Ⅰ. サイクルスポーツ振興による都市の魅力の向上

方針	1 自転車競技等を活用した地域の新たな魅力づくりの推進					
施策	1-1 自転車競技大会及びイベント等の開催					
取組	1 トップカテゴリーの自転車競技大会の誘致及び開催					
取組内容	<p>○ トップアスリートの選手を市民が間近で観戦できる地元競技大会を開催</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般公道で行うロードレース大会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">提供：レバンテフジ静岡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起伏のある地形を活かした MTB や BMX などの競技大会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出典：静岡県自転車活用推進計画</p> <p style="text-align: center;">出典：地方版自転車活用推進計画策定の手引き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山麓の林間や海岸の砂地など、様々な地形を利用したシクロクロス大会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">提供：レバンテフジ静岡</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、道路管理者（国土交通省、静岡県、富士市）、富士警察署、富士山観光交流ビューロー、民間事業者、交通事業者 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	<div style="text-align: center;">  <p>自転車競技大会の実施（評価・見直し）</p>  <p>新規大会誘致及び開催検討</p> </div>					

注1：【具体的な取組事例】は、今後取り組む予定の事業のイメージとして他市の事例などを紹介しています

注2：【具体的な取組】は、市内で実際に取り組んでいる内容について記載しています

注3：◎は、各取組の実施主体を示しています（次項以降同様）



取組	2 市民参加型の自転車競技大会等の開催					
取組内容	<p>○ 市民が参加できる自転車競技大会や自転車レースイベント等を開催</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の自転車競技大会 <div data-bbox="408 394 810 663"></div> <div data-bbox="919 394 1366 663"></div> <p style="text-align: center;">提供：レバンテフジ静岡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティサイクルの耐久レースイベント <div data-bbox="408 786 855 1084"></div> <div data-bbox="919 786 1366 1084"></div> <p style="text-align: center;">提供：富士スピードウェイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズレースなどサイクリングイベント <div data-bbox="408 1216 855 1485"></div> <div data-bbox="906 1216 1366 1485"></div> <p style="text-align: center;">提供：レバンテフジ静岡</p> <p style="text-align: center;">提供：ROOTS SPORTS JAPAN</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、道路管理者（国土交通省、静岡県、富士市）、富士警察署、富士山観光交流ビューロー、民間事業者、交通事業者 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	市民参加型自転車競技大会の実施（評価・見直し）					
	新規イベント開催検討及び開催支援					



取組

3 自転車競技及びパラサイクリングの普及啓発イベントの開催

取組内容

○ サイクルスポーツ及びパラサイクリングの体験会実施

【具体的な取組】

- ・プロサイクリングチームが教えるスポーツサイクル教室



【具体的な取組事例】

- ・パラサイクリング体験イベント



出典：静岡県自転車活用推進計画（静岡県）

実施主体と関係機関

◎富士市、民間事業者 等

実施工程（年度）

R3

R4

R5

R6

R7

R8

スポーツサイクル体験会の継続実施（評価・見直し）

パラ体験会の実施検討

パラサイクリング体験会の実施（評価・見直し）



方針	2 サイクルスポート振興を支える人材の育成の推進					
施策	2-1 自転車競技者や指導者等の発掘、育成					
取組	4 アスリートを目指す契機となる機会の創出					
取組内容	<p>○ 職業講話やパブリックビューイングなど、自転車競技に触れる機会の創出</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートによる職業講話 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>出典：富士市ジュニアスポーツアカデミー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>提供：レバンテフジ静岡</p> </div> </div> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車レースイベントのパブリックビューイング <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントと連携したパラスポーツを体験するブース <div style="text-align: center;">  <p>提供：富士スピードウェイ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの自転車選手の走りを体感できる動画の配信 <div style="text-align: center;">  <p>出典：（一社）富士山観光交流ビューロー</p> </div>					
実施主体と関係機関	◎富士市 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 80%; text-align: center;"> <p>職業講話の継続実施（評価・見直し）</p> </div> <div style="width: 10%;"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>新規取組検討</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>新規取組の実施（評価・見直し）</p> </div> <div style="width: 30%;"></div> </div>					



取組

5 自転車アスリート及びパラサイクリストの育成の支援

取組内容

○ ジュニアチームの育成支援

【具体的な取組事例】

- ・ トップアスリートと連携したジュニアチーム



○ 地元コースを活用した練習環境の確保

【具体的な取組】

- ・ 起伏のある地形を活用した地元コース



フジヤマパワーライントレイル
出典：フジヤマパワーライントレイル



広域基幹林道富士山麓線

○ 全国規模の競技大会に出場する選手の支援

【具体的な取組】

- ・ 全国大会規模の大会出場者へ競技会出場賞賜金の交付

実施主体と関係機関

◎富士市、民間事業者 等

実施工程(年度)

R3

R4

R5

R6

R7

R8


ジュニアチーム育成支援等の実施（評価・見直し）

パラサイクリスト育成支援の検討

実施（評価・見直し）



取組	6 指導者の養成・確保・活用						
取組内容	<p>○ 安全・継続的に自転車アスリートを育成するための指導者の育成</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の育成を目的とした講習会や指導者を対象としたスポーツ医学講演会など <div style="text-align: center;">  <p>スポーツ指導者講習会</p> </div>						
実施主体と関係機関	◎富士市 等						
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	スポーツ指導者講習会等の継続実施（評価・見直し）						
	指導者講習会受講支援の検討			講習会受講支援の実施			
	指導者の活用検討		活用の実施				

取組	7 競技大会等の運営を担うボランティアの育成						
取組内容	<p>○ レース開催時のボランティアの育成</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツボランティアの育成、確保について、市内高等学校等と連携 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>						
実施主体と関係機関	◎富士市、民間事業者 等						
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	一般、民間企業のボランティアとの連携の継続実施						
	高等学校との連携検討			実施（評価・見直し）			



目標Ⅱ. サイクルツーリズム推進による地域活力の向上

方針	3 魅力あるサイクリングコースの創出と情報発信の推進					
施策	3-1 魅力ある資源を活用したサイクリングコースの構築					
取組	8 富士山一周サイクリングルートと太平洋岸自転車道を接続するルートの構築					
取組内容	<p>○ 富士山一周サイクリングルートと太平洋岸自転車道をつなぐルートの設定及び整備</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通結節点や観光施設等をつなぐ接続ルートの設定 					
	<p>出典：静岡県自転車活用推進計画（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ナショナルサイクルルートの基準に則った路面標示や案内看板等の整備 					
実施主体と関係機関	◎富士市、◎道路管理者（国土交通省、静岡県、富士市）等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	接続ルートの検討及びネットワーク計画との調整				路線ごとの検討・事業の実施	
	関係機関との調整					



取組	9 近隣市町と連携したサイクリングコースの形成					
取組内容	<p>○ 近隣市町と連携したサイクリングコースの検討</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町と連携したサイクリングコース <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>富士リバービューロード</p>  <p>日本三大急流富士川沿いを上り、富士山本宮浅間大社や富士山と茶畑のパノラマビューの中を走ることが出来るコース。</p> <p>走行距離： 43km 獲得標高： 329m 所要時間： 3時間程度</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>富士リバービューロード The Fujikawa Riverside Route</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr;"> <div style="text-align: center;"> <p>5 岩本山 周辺 Around Iwamotoyama Park</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>6 富士山本宮浅間大社 Fujisan Sengen Taisha Shrine</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>7 道の駅 富士川楽座 Roadside Sta. Fujikawa Rakuzo</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 富士川河川敷 The Fujikawa River</p>  </div> </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">出典：（一社）富士山観光交流ビューロー</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、富士山観光交流ビューロー、近隣自治体 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	他市との連携協議		コースの検討等		コース設定・整備	

取組	10 市内を気軽に周遊するサイクリングコースの設定及び整備					
取組内容	<p>○ 市内の観光資源や商店などを巡るサイクリングコースの設定</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光資源等を巡るサイクリングコース <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">出典：（一社）富士山観光交流ビューロー</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、富士山観光交流ビューロー 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	コース検討		コースの設定・整備			
		新規コース検討				



取組

11 オリジナルの路面標示や案内看板等の整備

取組内容

○ 国内外のサイクリストにわかりやすい本市オリジナルの統一した路面標示や案内看板等の検討

【具体的な取組事例】

- ・看板の設置やピクトグラムによる案内

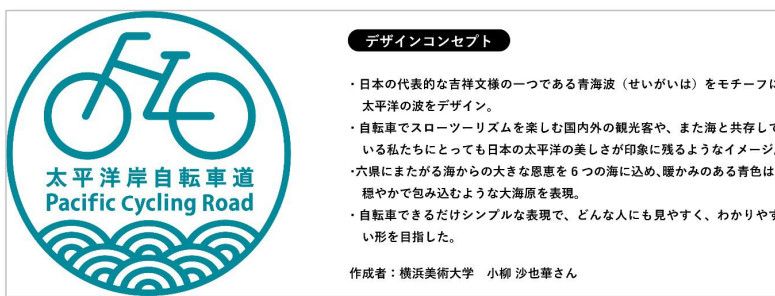


出典：国土交通省 ナショナルサイクルルート制度

○ 本市オリジナルのロゴやキャッチコピーの検討

【具体的な取組事例】

- ・サイクリングルートロゴデザイン



出典：太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート指定推進協議会

実施主体と関係機関

◎富士市、道路管理者(国土交通省、静岡県、富士市) 等

実施工程(年度)

R3

R4

R5

R6

R7

R8

路面標示・ロゴ検討及びネットワーク計画との調整

路線ごとの検討・事業の実施



<p>施策</p>	<p>3-2 市内外に向けたサイクリング等の情報の発信</p>					
<p>取組</p>	<p>12 サイクリングに関する情報発信</p>					
<p>取組内容</p>	<p>○ サイクリングマップの作成やウェブサイト、SNS を活用した情報発信の推進</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングマップ作成やウェブサイトによる情報発信 <div data-bbox="422 510 817 810" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="938 510 1300 810" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">出典：（一社）富士山観光交流ビューロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook、Twitter、Instagram 等の SNS を活用した情報発信 <p>○ モバイルアプリケーションを活用したイベント等による情報発信の検討</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンアプリと連携した情報発信 <div data-bbox="427 1205 1045 1675" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">出典：（公社）静岡県観光協会 静岡県公式観光アプリ～TIPS～</p>					
<p>実施主体と関係機関</p>	<p>◎富士市 等</p>					
<p>実施工程（年度）</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>	<p>R8</p>
	<p>ウェブサイト、SNS 等の情報発信の実施（見直し）</p>					
	<p>アプリとの連携調査、検討</p>			<p>実施</p>		



取組	13 自転車関連情報発信ツールの多言語化の推進					
取組内容	<p>○ サイクリングマップ、ウェブサイト、自転車の交通ルールやマナー啓発のチラシなど、自転車に関する情報発信ツールの多言語化</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語化したサイクリングガイドマップやウェブサイト 					
						
	出典：（一社）富士山観光交流ビューロー					
実施主体と関係機関	◎富士市 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	既存ツールの多言語化			新規ツールの多言語化		

取組	14 海外に向けたサイクルツーリズムに関する情報発信					
取組内容	<p>○ 海外のイベントにて本市のサイクルツーリズムに関する情報を発信</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台北国際自転車見本市（台北サイクルショー）等の静岡県ブース内での情報の発信 					
実施主体と関係機関	◎静岡県、富士市、富士山観光交流ビューロー 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	調査、検討		実施			



方針	4 サイクリストの受入環境の構築					
施策	4-1 サイクリストが快適に過ごすための環境の構築					
取組	15 サイクリスト受入機能を持つ施設やサービスの促進					
取組内容	<p>○ サイクリストが休憩、情報収集ができるサイクルステーションの設置</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の利用を促進する拠点施設としてのサイクルステーション <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出典：宮サイクルステーション（宇都宮市）</p> <p>○ 自転車の室内持込可能施設やバイシクルピットの設置など、サイクリストのニーズにあった施設やサービスの促進</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内に自転車を持ち込みできる宿泊施設やカフェ <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出典：静岡県自転車活用推進計画（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスを実施している施設へのサイン設置 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出典：ゆるゆる遠州サイクルツーリズム</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、富士山観光交流ビューロー、民間事業者、交通事業者 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	 					



取組

16 観光客向けライドイベント等の促進

取組内容

○ サイクリスト向けロングライドイベントの実施の検討

【具体的な取組事例】

・富士山一周サイクリングイベント

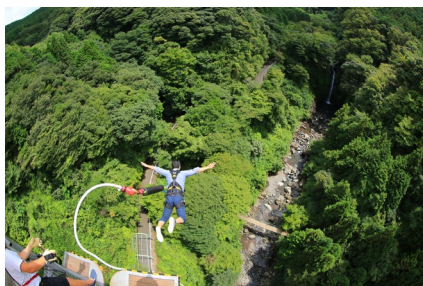


提供：ROOTS SPORTS JAPAN

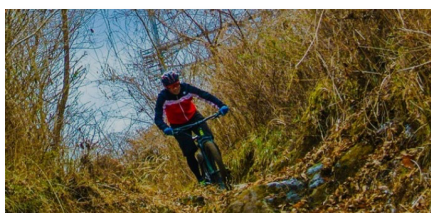
○ アクティビティ等の観光資源を活用したライドイベントの実施検討

【具体的な取組事例】

・須津川溪谷バンジージャンプ体験付ライドイベント



・フジヤマパワーライントレイルを活用した MTB 体験イベント



実施主体と関係機関

◎富士市、富士山観光交流ビューロー 等

実施工程(年度)

R3

R4

R5

R6

R7



R8

ライドイベントの検討


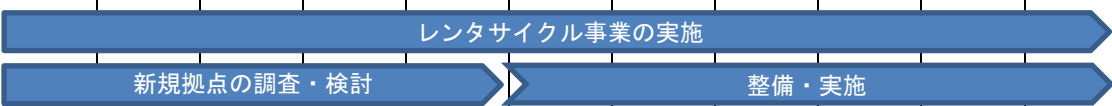
実施(見直し)






取組	17 サイクリングガイドやサポートライダーの育成の促進					
取組内容	<p>○ 各種団体と連携したサイクリングガイドやサポートライダーの育成</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングガイド、サポートライダーの育成事業 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出典：静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会</p>					
実施主体と関係機関	◎民間事業者、富士市 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	継続実施					

取組	18 公共交通と自転車の連携を促進					
取組内容	<p>○ 公共交通機関へのバイシクルピットの設置</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気入れやメンテナンス工具の貸出、休憩スペースを提供するバイシクルピットの設置 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">静岡県 バイシクルピット共通マーク</p> <p>○ 自転車での市内周遊性に向けた、交通事業者と連携したサービスの検討</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車を積み込めるバスや鉄道 ・自転車も一緒に搬送するタクシーサービス 					
実施主体と関係機関	◎富士市、交通事業者 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	連携内容の調査・検討			実施（見直し）		



施策	4-2 観光客等の周遊性の向上につながる機能の充実					
取組	19 E-BIKE等を活用したレンタサイクル事業の推進					
取組内容	<p>○ サイクルステーションで行うE-BIKEのレンタサイクル事業の実施と新規レンタサイクル拠点の検討</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新富士駅観光案内所で行うE-BIKEのレンタサイクル事業  <p>新富士駅観光案内所 富士山レンタサイクル 出典：(一社)富士山観光交流ビューロー</p> <p>○ E-BIKEの試乗体験会の実施</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・E-BIKEの性能を体験する試乗体験会の実施 					
実施主体と関係機関	◎富士市、富士山観光交流ビューロー 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
						

取組	20 シェアサイクルの導入検討					
取組内容	<p>○ 電動アシスト自転車を活用したシェアサイクルの実証実験及び導入の検討</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動アシスト自転車のシェアサイクル事業  					
実施主体と関係機関	◎富士市、民間事業者 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
						



目標Ⅲ. 安全安心

方針	5 市民の交通安全意識の向上と自転車の安全性の確保					
施策	5-1 自転車の交通ルール・マナー等の広報啓発					
取組	21 幅広い世代に対するの安全教育の実施					
取組内容	<p>○ 小学生、中学生、高校生、高齢者を対象とした自転車の安全教育の実施</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や高齢者を対象とした安全教室 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出典：（一社）静岡県交通安全協会</p> <p>○ 自転車の交通ルールやマナーの普及・啓発活動の推進</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロサイクリングチームを活用した交通安全運動 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>					
実施主体と関係機関	◎富士警察署、◎富士市 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
						



取組

22 自転車交通安全啓発ツールの活用による通行ルールの周知

取組内容

○ 交通安全に関するリーフレットを活用した通行ルールの周知

【具体的な取組】

・自転車安全利用五則に関するリーフレットの配布



出典：警察庁

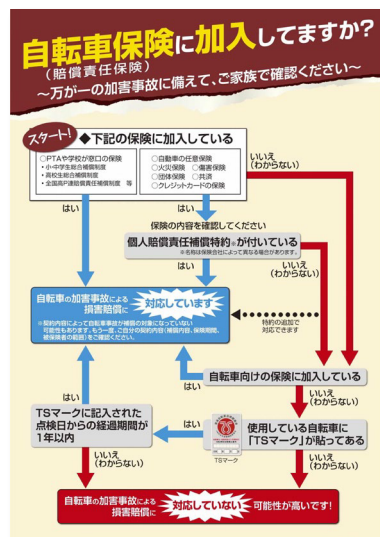
○ リーフレットを活用したヘルメット着用等の広報啓発

【具体的な取組】

・静岡県自転車条例のチラシの配布



出典：静岡県



実施主体と関係機関

◎富士市、静岡県、富士警察署、民間事業者 等

実施工程(年度)

R3

R4

R5

R6

R7

R8

継続実施



取組

24 自転車損害賠償保険の加入促進

取組内容

○ 広報啓発チラシ等を活用した自転車損害賠償保険の加入促進

【具体的な取組】

- ・自転車損害賠償保険加入促進のチラシ配布

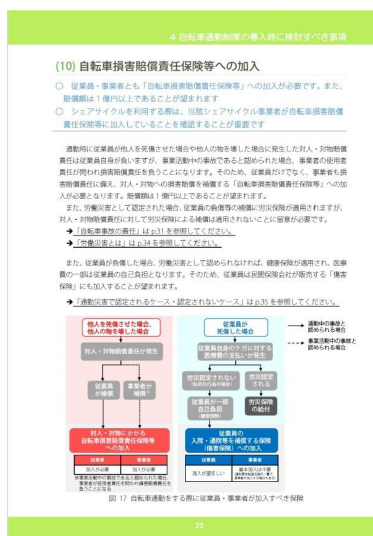


出典：静岡県交通安全対策協議会

○ 企業の従業員に向けた自転車損害賠償保険加入促進の広報啓発

【具体的な取組事例】

- ・自転車通勤導入の促進と連動した広報啓発



出典：自転車活用推進官民連携協議会

実施主体と関係機関

◎富士市、民間事業者 等

実施工程(年度)

R3

R4

R5

R6

R7

R8

継続実施



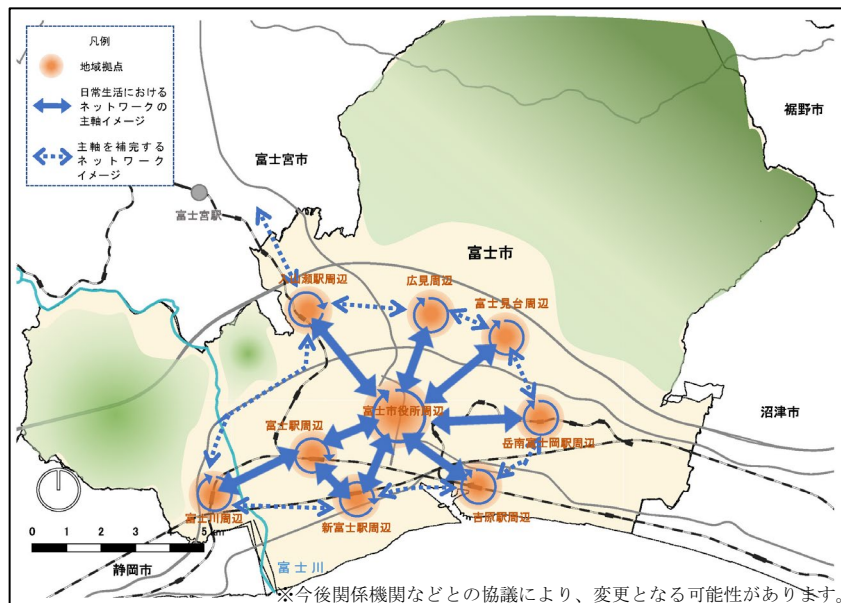
方針	6 安全で快適な自転車走行環境の構築																		
施策	6-1 自転車走行空間の計画的な整備																		
取組	25 自転車走行空間ネットワーク計画の策定																		
取組内容	<p>○ 市民やサイクリストが安全で快適に利用できる自転車走行空間の整備計画を策定</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行空間の整備 <div data-bbox="422 604 1324 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">自転車走行空間の基本的な整備形態のイメージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">1. 自転車道</th> <th style="width: 33%;">2. 自転車専用通行帯</th> <th style="width: 33%;">3. 車道混在 (自転車と自動車と混在通行とする道路)</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>緑石線等の工作物により構造的に分離された自転車専用の通行空間。</p>  <p style="text-align: center;">自転車道の事例</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>道路交通法により指定された、自転車が専用で通行する車両通行帯。自転車と自動車を視覚的に分離。</p>  <p style="text-align: center;">鷹岡富士停車場線(富士駅付近)</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>自転車と自動車が車道で混在。自転車の通行位置を明示し、自動車に注意喚起するため必要に応じて路肩のカラー化、帯状の路面標示やピクトグラム等を設置。</p>  <p style="text-align: center;">富士駅南口田子浦線(道の駅富士付近)</p> </td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">参考：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン H28/静岡県自転車道等設計仕様書 H29</p> <p>【参考資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行空間の整備による効果事例について <div data-bbox="414 1377 1332 2027" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">自転車通行空間整備による効果①（幹線道路の自転車専用通行帯）</p> <p style="text-align: center;">○ 幹線道路において、自転車専用通行帯の設置により自転車の車道左側通行率が上昇し、ルールの順守に効果をあげている。</p> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">幹線道路の事例【自転車専用通行帯設置の効果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>整備前</th> <th>整備後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋市</td> <td>車道通行(順走) 86%, 車道通行(逆走) 2%, 歩道通行 12%</td> <td>車道通行(順走) 48%, 車道通行(逆走) 1%, 歩道通行 51%</td> </tr> <tr> <td>福岡市</td> <td>車道通行(順走) 86%, 車道通行(逆走) 3%, 歩道通行 11%</td> <td>車道通行(順走) 51%, 車道通行(逆走) 6%, 歩道通行 43%</td> </tr> <tr> <td>富崎市①</td> <td>車道通行(順走) 96%, 車道通行(逆走) 2%, 歩道通行 2%</td> <td>車道通行(順走) 60%, 車道通行(逆走) 8%, 歩道通行 32%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">【出典：自転車通行空間整備・計画事例集(土木学会)の各事例データ(一部再集計)】 6</p> </div> <p style="text-align: center;">出典：第2回安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会（国土交通省）</p>	1. 自転車道	2. 自転車専用通行帯	3. 車道混在 (自転車と自動車と混在通行とする道路)	<p>緑石線等の工作物により構造的に分離された自転車専用の通行空間。</p>  <p style="text-align: center;">自転車道の事例</p>	<p>道路交通法により指定された、自転車が専用で通行する車両通行帯。自転車と自動車を視覚的に分離。</p>  <p style="text-align: center;">鷹岡富士停車場線(富士駅付近)</p>	<p>自転車と自動車が車道で混在。自転車の通行位置を明示し、自動車に注意喚起するため必要に応じて路肩のカラー化、帯状の路面標示やピクトグラム等を設置。</p>  <p style="text-align: center;">富士駅南口田子浦線(道の駅富士付近)</p>	市町村	整備前	整備後	名古屋市	車道通行(順走) 86%, 車道通行(逆走) 2%, 歩道通行 12%	車道通行(順走) 48%, 車道通行(逆走) 1%, 歩道通行 51%	福岡市	車道通行(順走) 86%, 車道通行(逆走) 3%, 歩道通行 11%	車道通行(順走) 51%, 車道通行(逆走) 6%, 歩道通行 43%	富崎市①	車道通行(順走) 96%, 車道通行(逆走) 2%, 歩道通行 2%	車道通行(順走) 60%, 車道通行(逆走) 8%, 歩道通行 32%
1. 自転車道	2. 自転車専用通行帯	3. 車道混在 (自転車と自動車と混在通行とする道路)																	
<p>緑石線等の工作物により構造的に分離された自転車専用の通行空間。</p>  <p style="text-align: center;">自転車道の事例</p>	<p>道路交通法により指定された、自転車が専用で通行する車両通行帯。自転車と自動車を視覚的に分離。</p>  <p style="text-align: center;">鷹岡富士停車場線(富士駅付近)</p>	<p>自転車と自動車が車道で混在。自転車の通行位置を明示し、自動車に注意喚起するため必要に応じて路肩のカラー化、帯状の路面標示やピクトグラム等を設置。</p>  <p style="text-align: center;">富士駅南口田子浦線(道の駅富士付近)</p>																	
市町村	整備前	整備後																	
名古屋市	車道通行(順走) 86%, 車道通行(逆走) 2%, 歩道通行 12%	車道通行(順走) 48%, 車道通行(逆走) 1%, 歩道通行 51%																	
福岡市	車道通行(順走) 86%, 車道通行(逆走) 3%, 歩道通行 11%	車道通行(順走) 51%, 車道通行(逆走) 6%, 歩道通行 43%																	
富崎市①	車道通行(順走) 96%, 車道通行(逆走) 2%, 歩道通行 2%	車道通行(順走) 60%, 車道通行(逆走) 8%, 歩道通行 32%																	



【富士市自転車走行空間ネットワーク計画の構想図】

・日常生活における自転車走行空間ネットワークの基本的な考え方

- 本市の集約・連携型都市づくり推進戦略等の考え方に基づき、商業や学校、公共施設等の主要な都市機能を誘導・集約する地域拠点内や拠点間をつなぐ、自転車走行空間ネットワークの構築
- 大型車が多い路線を避けることや富士市内の自転車関連事故の傾向など、自転車利用環境を把握し、その対策を考慮したルートを検討



・観光利用における自転車走行空間ネットワークの基本的な考え方

- 新富士駅等の交通結節点や商店や観光資源等をつなぐ本市オリジナルサイクリングルートや市民が気軽に利用できるサイクリングコースと連携した自転車走行空間ネットワークの構築



実施主体と
関係機関

◎富士市、道路管理者（国土交通省、静岡県、富士市）、富士警察署 等

実施工程
(年度)

R3	R4	R5	R6	R7	R8
	庁内検討	ネットワーク計画策定	関係機関との協議・調整	路線ごとの検討・事業の実施	



方針	7 安全で快適な駐輪環境の確保					
施策	7-1 駐輪場の利用環境の向上					
取組	26 駐輪需要に対応した駐輪環境の確保					
取組内容	<p>○ 既存駐輪場の収容台数を確保する区画整理や整頓などの実施</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車を止める位置をわかやすくし、収容台数を確保するための区画整理  <p>出典：富士市自転車利用総合計画 報告書</p> <p>○ 施設の老朽化による改修や再開発事業等の機会を活用した駐輪場のリニューアル</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明のLED化や内装工事等による駐輪場のリニューアル <p>○ 市民の需要に応じた新規駐輪場の検討・整備</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路に設置する小型分散型駐輪場  					
実施主体と関係機関	◎富士市 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	 					



取組

27 防犯対策及び放置自転車対策の推進

取組内容

○ 駐輪場内の整理整頓等の推進による防犯対策

【具体的な取組】

- ・市営駐輪場の整理整頓

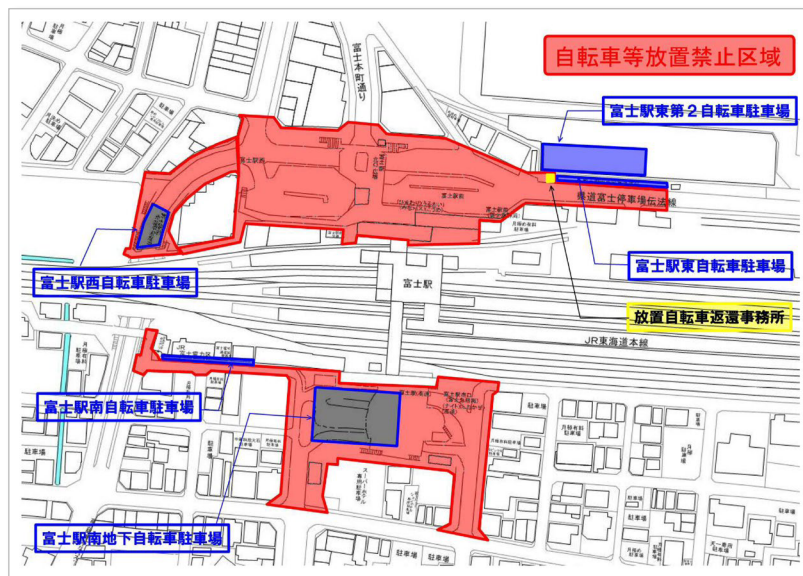


吉原駅北自転車駐輪場

○ パトロールによる防犯対策及び放置自転車対策の推進

【具体的な取組】

- ・自転車等放置禁止区域のパトロール



富士駅周辺自転車等放置禁止区域

実施主体と関係機関

◎富士市、富士警察署 等

実施工程
(年度)

R3

R4

R5

R6

R7

R8

継続実施（評価・見直し）



目標Ⅳ. 裾野拡大

方針	8 日常における自転車の利用の促進					
施策	8-1 自転車に対する興味を持つためのきっかけづくり					
取組	28 自転車の魅力を発信する施設の整備					
取組内容	<p>○ 自転車の魅力を発信し、市民の交流や地域の賑わいの場となるサイクルステーションの設置</p> <p>【取組 15 取組内容 再掲】</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、交通事業者 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	サイクルステーション設置（評価・見直し）					

取組	29 トップカテゴリーの自転車競技大会の誘致及び開催					
	【取組 1 再掲】					
実施主体と関係機関	◎富士市、道路管理者（国土交通省、静岡県、富士市）、富士警察署、富士山観光交流ビューロー、民間事業者、交通事業者 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	自転車競技大会の実施（評価・見直し）					
	新規大会誘致及び開催検討					

取組	30 自転車関連製品の開発事業者との連携					
取組内容	○ 自転車関連製品開発等を行う民間事業者等との連携					
実施主体と関係機関	◎富士市、民間事業者 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	開発連携			運用支援		



施策	8-2 日常生活で気軽に自転車を利用できる環境の確保					
取組	31 日常生活における自転車利用の促進					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な自転車利用を促す広報啓発 ○ 5月の自転車月間での啓発の推進 ○ 子ども乗せ自転車等の購入支援の検討 ○ 自転車での市内周遊性に向けた、交通事業者と連携したサービスの検討 <p style="text-align: center;">【取組 18 取組内容 再掲】</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、交通事業者 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	広報啓発の継続実施、方法の見直し					
	購入支援制度の検討		実施			
連携内容の調査・検討		実施（見直し）				


取組	32 シェアサイクルの導入検討					
	【取組 20 再掲】					
実施主体と関係機関	◎富士市、民間事業者 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	導入検討			実証実験の実施（評価）		

施策	8-3 市民が気軽にサイクリングを楽しめる環境の構築					
取組	33 市内を周遊するサイクリングコースの設定及び整備					
	【施策 10 再掲】					
実施主体と関係機関	◎富士市、富士山観光交流ビューロー 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	コース検討		コースの設定・整備			
	新規コース検討		新規コース検討			



取組	34 市内周遊のサイクリングコースを活用したライドイベントの開催					
取組内容	<p>○ 市内サイクリングコースを活用したサイクリングガイドツアーの推進</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングガイドツアー <div data-bbox="422 414 670 757" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="750 414 1268 757" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">提供：ふじのくに east サイクリストクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロサイクリングチーム等のファンライドイベントの実施 <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロサイクリングチームのファンライドイベント <div data-bbox="406 981 885 1249" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="901 981 1380 1249" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ モバイルアプリケーションを活用したサイクリングイベントの検討 <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンアプリを活用したサイクリングイベント <div data-bbox="422 1451 1066 1792" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">提供：ROOTS SPORTS JAPAN</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、民間事業者 等					
実施工程(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8



方針	9 自転車を活用した健康増進と環境負荷の低減の推進					
施策	9-1 自転車を活用した健康づくりと自転車通勤の推進					
取組	35 健康増進に関する広報啓発					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車の活用による健康増進効果等を伝える情報の発信 ○ 自転車が環境負荷の低減に資する乗り物であることを伝える情報の発信 ○ 市民向けに自転車通勤による健康増進効果などについて広報啓発 <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーによる啓発 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">エコ通勤奨励の事業所や、有識者による講演等で、市内事業所に自転車通勤推進のポイントを周知【出典：愛知県豊橋市】</p> <p style="text-align: center;">出典：地方版自転車活用推進計画策定の手引き</p> </div>					
実施主体と関係機関	◎富士市 等					
実施工程 (年度)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	実施内容検討		実施			





取組	36 自転車通勤等の推進												
取組内容	<p>○ 自転車通勤宣言企業の取得促進</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宣言企業の認定 <div data-bbox="427 443 1141 967" data-label="Complex-Block"> <p>宣言企業とは</p> <p>従業員の自転車通勤を認めている企業・団体で、以下の基準を満たす企業・団体を「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトの「宣言企業」に認定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業・団体または従業員が自転車通勤のための駐輪場を確保 ■ 自転車で通勤する従業員向けに安全教育を年1回以上実施 ■ 自転車で通勤する従業員の自転車損害賠償責任保険の加入を義務化 <p>宣言企業に認定されると…</p> <p>こちらのサイトに、自転車通勤を推進する企業・団体として企業・団体が紹介されます。社内のホームページや名刺等に宣言企業の認定ロゴマークが使用できます。</p> <p><small>※ 事業所単位でも認定されます。 ※ 審査には通常2週間程度を要します。ただし、申請数が多い場合、それ以上の期間を要することがあります。 ※ 認定の有効期間は5年です。</small></p> </div> <p>出典：自転車活用推進官民連携協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業向けに自転車通勤や自転車の業務利用などについて広報啓発 <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車通勤導入に関する手引き <div data-bbox="419 1193 826 1765" data-label="Complex-Block"> <p>自転車通勤導入に関する手引き</p> <p>令和元年5月 自転車活用推進官民連携協議会</p> </div> <div data-bbox="922 1193 1329 1765" data-label="Complex-Block"> <p>2 自転車通勤制度導入のメリット</p> <p>2.1 事業者のメリット</p> <p>(1) 経費の削減</p> <p>○ 通勤手当や固定経費などの削減につながります</p> <p>自転車はクルマや公共交通に比べて通勤にかかる費用が少ないため、通勤手当の削減につながります。また、クルマから自転車通勤への転換が図られることで、社有車や駐車場の維持にかかる固定経費などの削減につながります。</p> <p>トピック</p> <p>○ 自転車通勤制度により、従業員一人当たりの通勤費削減額は年間の約5.7万円 ○ さらに固定経費が年間の約100万円削減された事例も</p> <p>自転車通勤を推奨している事業者を対象とした調査より、従業員一人当たりの通勤費削減額は平均で年間の約5.7万円という結果が出ています。</p> <p>また、ある事業者において、通勤のために借り上げていた駐車場代がからなくなったことにより、年間で約100万円もの固定経費が削減されたという事例もあります。</p> <p>図1 自転車通勤による経費削減効果の例 ※ 通勤費削減額：通勤費削減効果があったと回答した8事業者の平均値を使用【自転車通勤を推奨する事業者アンケート調査より】</p> <table border="1"> <tr> <th>経費項目</th> <th>削減効果</th> </tr> <tr> <td>通勤費 (一人当たり)</td> <td>年間 約5.7万円削減 (※事業所別)</td> </tr> <tr> <td>固定経費 (年間)</td> <td>約100万円削減 (※事業所別)</td> </tr> </table> </div> <p>出典：自転車通勤導入に関する手引き（国土交通省）</p>							経費項目	削減効果	通勤費 (一人当たり)	年間 約5.7万円削減 (※事業所別)	固定経費 (年間)	約100万円削減 (※事業所別)
経費項目	削減効果												
通勤費 (一人当たり)	年間 約5.7万円削減 (※事業所別)												
固定経費 (年間)	約100万円削減 (※事業所別)												
実施主体と関係機関	◎富士市、民間事業者 等												
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8							
	実施内容検討			実施									



方針	10 自転車を活用した防災の推進					
施策	10-1 災害時における自転車活用の推進					
取組	37 自転車を活用した災害時の危機管理体制の強化					
取組内容	<p>○ 災害時における自転車を活用した住民の避難などの検討</p> <p>○ 災害時における自転車を活用した道路等公共施設の被害状況調査などの検討</p> <p>【具体的な取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路の緊急点検用自転車の配備 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・災害時における道路その他の被災状況の迅速な把握のため、地方公共団体の庁舎等に自転車を配備し、訓練を重ねる等により危機管理体制を強化する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">道路管理における緊急点検用自転車の配備 【出典：国土交通省】</p> </div> <p style="text-align: center;">出典：地方版自転車活用推進計画策定の手引き（案）</p>					
実施主体と関係機関	◎富士市、道路管理者（国土交通省、静岡県、富士市）、施設管理者、自主防災組織 等					
実施工程（年度）	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	活用検討・検証			訓練での実施		





3. 評価指標

計画の施策を測る指標を設定しました。施策ごとに実施した活動量を表す「活動指標」を設定し、4つの目標ごとに各施策の実施によりもたらされる「成果指標」を設定しました。2つの指標を用いて、計画の進行管理を行っていきます。

目標	計画の成果指標と活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
Ⅰ. サイクルスポーツ	【成果指標Ⅰ】 自転車競技大会及び自転車イベントの年間集客数	人/年	0	5,000
	【活動指標 1-1】 自転車競技大会の年間開催回数	回/年	0	2
	【活動指標 2-1】 サイクルスポーツ体験教室の累計受講者数	人	37 (R2)	240
Ⅱ. サイクルツーリズム	【成果指標Ⅱ】 サイクルステーションに関連した年間消費額(※)	千円/年	0	6,150
	【活動指標 3-1】 サイクリングコースの設置数	コース	3 (R2)	8
	【活動指標 3-2】 自転車に関するサイトの年間閲覧数	PV/年	0	45,000
	【活動指標 4-1】 サイクルステーションの年間利用者数	人/年	0	2,500
	宿泊施設や飲食店舗等のサイクリストの受入認定店舗の累計数	件	0	50
	【活動指標 4-2】 レンタサイクルの年間貸出回数	回/年	721 (H30)	2,000
Ⅲ. 安全安心	【成果指標Ⅲ】 年間の自転車事故発生件数	件/年	250 (R1)	225
	【活動指標 5-1】 自転車安全利用五則の内容をすべて知っている人の割合	%	55 (R2)	60
	【活動指標 5-2】 自転車通勤、通学者へTSマークを推奨している企業や高校の累計数	カ所	5 (R2)	11
	【活動指標 6-1】 富士市自転車走行空間ネットワーク計画の策定	件	0	1
	【活動指標 7-1】 駐輪に関する防犯や利用マナーアップキャンペーンの累計数	回	3 (R2)	23
Ⅳ. 裾野拡大	【成果指標Ⅳ】 自転車の交通分担率の割合	%	5.5 (H27)	6.0
	週に1回以上自転車を利用する人の割合	%	44.5 (R2)	50
	【活動指標 8-1】 サイクルステーションから情報発信を行う年間の回数	件/年	0	200
	【活動指標 8-2】 自転車利用を促す広報啓発活動の累計数	件	0	10
	【活動指標 8-3】 自転車ライドイベント等の魅力を伝えるイベントの年間実施回数	回/年	4 (R2)	10
	【活動指標 9-1】 自転車通勤宣言企業の累計取得企業数	企業団体	0	5
	【活動指標 10-1】 自転車を活用した防災訓練の累計実施回数	回	0	25

※ 消費額の目標値算出は、以下により行っています。

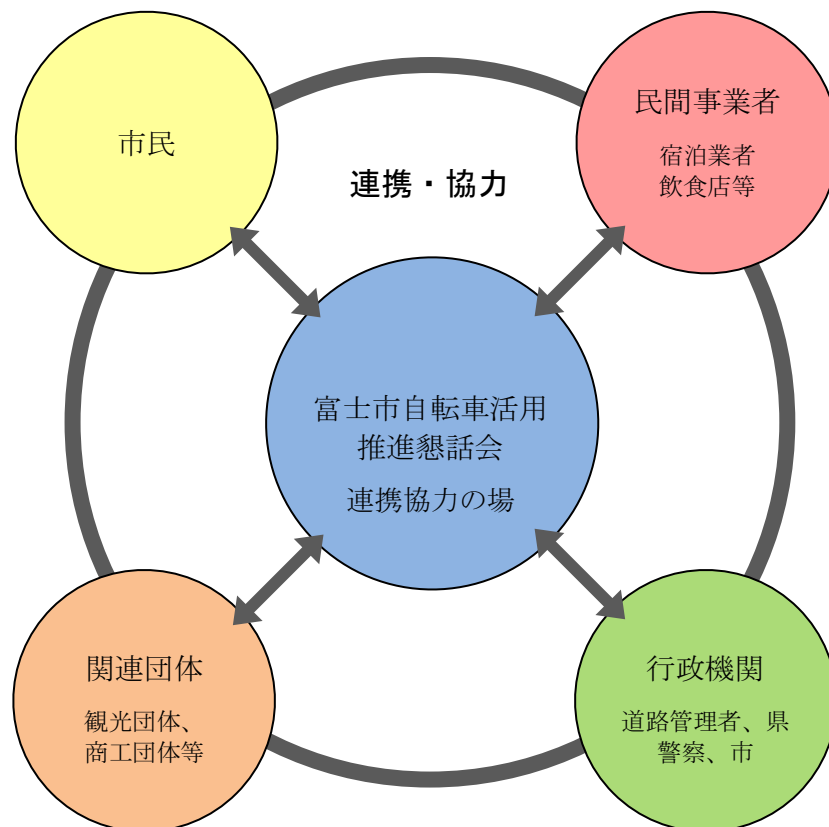
サイクルステーションの年間利用者数(目標)×1,500円(アンケート調査「サイクリングに出かける場合に消費する金額」を参考)と、レンタサイクルの年間貸出回数×2,000円(レンタサイクル3時間以内の1台当たりの貸出金額)の合計



1. 計画の推進体制

本計画を推進していくためには、市民、事業者、関係行政機関（道路管理者、県、警察、市）が、協働により自転車の活用の推進に取り組んでいくことが重要です。このため、「富士市自転車活用推進懇話会」を設置し、推進状況の共有を図りながら、相互に連携・協力をしていきます。

- ・本計画の取組が円滑に推進できるような体制を構築します。



図表 6-1 計画の推進体制



2. 計画の進行管理

本計画における各施策を着実に推進するため、PDCAサイクルの考え方にに基づき、個々の施策の進捗状況を点検・評価し、必要に応じて見直しを図っていくことにより、計画の適切な進行管理を行います。

- ・計画の適切な進行管理を行うため、PDCA サイクルを実施し、「富士市自転車活用推進懇話会」と連携して計画の進捗管理を行い、自転車の活用の推進を図ります。



図表 6-2 PDCA サイクル概要図



■ 計画策定の経過と体制

○計画策定の経過

年	月日	概要
令和2年	9月16日 ～9月30日	市民ウェブアンケート実施 回答数：1,269通
	9月～10月	ヒアリング調査実施 富士市の自転車関連の12団体
	11月16日	第1回富士市自転車活用推進計画策定懇話会 ①懇話会設置趣旨や座長選任 ②富士市自転車活用推進計画策定スケジュール ③富士市自転車活用推進計画（案）の第1章から第4章までについての意見聴取 等
	12月22日	第1回 作業分科会 ①本計画の策定趣旨及び作業分科会について ②「富士市自転車活用推進計画（案）」、「計画趣旨」、「分科会の取組」、「スケジュール」の共有 ③富士市自転車活用推進計画（案）についての意見交換 等
令和3年	1月14日	第2回 作業分科会 ①「施策（案）、取組（案）」説明 ②「施策（案）、取組（案）」についての意見聴取 等
	1月28日	第3回 作業分科会 ①「施策（案）、取組（案）」説明 ②「施策（案）、取組（案）」についての意見聴取 ③「施策（案）、取組（案）」のまとめ 等
	3月5日	第2回富士市自転車活用推進計画策定懇話会 ① 第1回懇話会で意見聴取した部分の変更点について ② 実施施策及び取組等について ③ 指標と評価指数、計画の推進体制について 等
	4月27日	第3回富士市自転車活用推進計画策定懇話会 ① 第2回懇話会で意見聴取した部分の対応と変更点について ② 取組内容と所管する機関について ③ 成果指標と活動指標について 等
	7月1日 ～8月2日	富士市自転車活用推進計画（案）のパブリック・コメントの実施
	9月27日	第4回富士市自転車活用推進計画策定懇話会 ① 第3回懇話会で意見聴取した部分の対応と変更点について ② パブリック・コメントの実施結果について ③ 富士市自転車活用推進計画について 等



○ 計画策定の体制

【富士市自転車活用推進計画策定懇話会 参加者名簿】

本市における自転車活用推進計画策定に当たり、外部の視点からの意見又は助言を求めるため、富士市自転車活用推進計画策定懇話会を開催しました。

団体等	役職	氏名	備考
名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科	教授	松本 幸正	学識経験者
国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課	課長	家垣 義洋	自転車活用推進計画関係
国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所	建設専門官	高柿 弘義	道路管理者 令和2年9月7日から令和3年3月31日まで
	建設専門官	中野 はつ子	道路管理者 令和3年4月1日から
静岡県 富士土木事務所 企画検査課	次長兼 企画検査課長	望月 満	道路管理者
静岡県 スポーツ・文化観光部 スポーツ局 スポーツ政策課	主査	伊東 謙吾	静岡県自転車活用推進計画関係 令和2年9月7日から令和3年3月31日まで
	主査	森 保充	静岡県自転車活用推進計画関係 令和3年4月1日から
静岡県警察 富士警察署 交通課	課長	鈴木 英文	交通安全関係 規制関係
(一社) 富士山観光交流 ビューロー	専務理事	土屋 俊夫	サイクルツーリズム関係 観光施設連携関係
富士商工会議所 商業観光課	課長	神尾 英尚	サイクルツーリズム関係 企業連携関係
富士市商工会	事務局長	深澤 伸嘉	サイクルツーリズム関係 企業連携関係
ふじのくに east サイクリストクラブ	代表	後藤 淳	サイクルツーリズム関係 ホビーサイクリスト関係
(有) サイクルセブン	代表	八幡 洋介	地域自転車ショップ
BCクリエイト (同)	代表	二戸 康寛	「レバンテフジ静岡」運営会社 競技振興、裾野拡大関係 サイクルツーリズム関係



【サイクルスポーツ・サイクルツーリズム分科会 参加者名簿】

サイクルスポーツ・サイクルツーリズム分科会では、本計画の目標「Ⅰ. サイクルスポーツ振興による都市の魅力向上」、「Ⅱ. サイクルツーリズム推進による地域活力の向上」に基づく、方針から、具体的な取り組み等を検討しました。

団 体 等	役 職	氏 名
国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所	建設専門官	飯村 豊
静岡県 スポーツ・文化観光部 スポーツ局 スポーツ政策課	主査	伊東 謙吾
(一社) 富士山観光交流 ビューロー	事業推進担当	佐野 佑輔
富士商工会議所 商業観光課	課長	神尾 英尚
富士市商工会	事務局長	深澤 伸嘉
ふじのくに east サイクリストクラブ	代表	後藤 淳
BCクリエイト (同)	代表	二戸 康寛
東京電力パワーグリッド (株) 静岡総支社	副総支社長	飯塚 一樹
東京電力パワーグリッド (株) 富士支社	次長	相山 勇治
富士市ホテル旅館業組合	副組合長	石毛 稔
富士急静岡バス (株)	営業部長	渡邊 輝
商業組合 静岡県タクシー協会 富士・富士宮支部	支部長	米山 政司
岳南電車 (株)	鉄道部長代理 兼課長	井上 昌久
産業経済部 富士山・観光課		



【安全安心・裾野拡大分科会 参加者名簿】

安全安心・裾野拡大分科会では、本計画の目標「Ⅲ.安全・安心に自転車を利用できる環境づくり」、
「Ⅳ.自転車利用の裾野拡大による市民生活の質の向上」に基づく、方針から、具体的な取り組み等
を検討しました。

団体等	役職	氏名
国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所	建設専門官	高柿 弘義
静岡県 富士土木事務所	次長	望月 満
静岡県警察 富士警察署 交通課	課長	鈴木 英文
静岡県警察 富士警察署 交通課	交通安全教育係 警部補	鈴木 正行
(有) サイクルセブン	代表	八幡 洋介
BCクリエイト (同)	代表	二戸 康寛
富士市立高等学校	教諭	山下 陽右
市民部 市民安全課		
都市整備部 都市計画課		
建設部 建設総務課		
建設部 道路整備課		
建設部 道路維持課		



■ 市民ウェブアンケートの調査結果

○実施概要

1) 調査目的

- ① 富士市における自転車利用実態の把握
- ② 自転車利用環境の課題の把握
- ③ 自転車を取り巻く環境や市の自転車施策等の周知や啓発

2) 調査概要

- ① 実施方法：「しずおか電子申請サービス」を利用したウェブアンケートを実施
- ② 調査時期：令和2年9月16日(水)から9月30日(水)
- ③ 回答数：1,269通
- ④ 周知方法：富士市ウェブサイトへの掲載及び公共施設へのチラシ(QRコード付き)を配布

自転車のこと 教えてください さいくりんぐ。

富士市自転車活用推進プロジェクト

**自転車利用に関する
Web アンケートに
ご協力ください。**

アンケート募集期間
9月30日まで
アンケートはこちらから→

アンケート項目抜粋●
あなたの所持している自転車の種類を教えてください
●あなたは週にどれくらい自転車を利用されますか●自転車を安全に利用するための「自転車安全利用五則」を知っていましたか●自転車利用環境で危険と感じていることを教えてください●自転車が安心して道路を通行できるように、道路が整備されているのを見たことがありますか●サイクルリングに出かけたことがありますか。また、出かけてみたいですか・・・

富士市は、ノリがいい!

富士市 市民部 スポーツ振興課 si-sports@div.city.fuji.shizuoka.jp 電話：0545-55-2876 担当：石井・影山

参考資料



○ アンケートの結果概要

回答状況

- ウェブアンケート調査を実施した結果 1,269 人からの回答がありました。
- 回答者は、「40 才代(24.4%)」が最も多く、次いで「50 才代(22.3%)」、「10 才代(20.5%)」となりました。

サイクルスポーツ振興に関する視点

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの自転車競技が静岡県内で行うことを「知っている」と答えた方が 84.4%と「知らなかった(15.6%)」を上回りました。
- 富士市に拠点事務所を設置し、活動しているプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」を知っている方は 61.1%となった。また、プロサイクリングチームが参加するイベントで興味ある内容では、「レースイベント(42.5%)」が最も高くなりました。一方で、自転車競技の観戦経験は 4.6%と少ない結果となります。

① 東京オリンピック・パラリンピックや自転車競技への関心

- ・ 東京オリンピック・パラリンピックで自転車競技が県内で行うことへの知名度は、「知っている(84.4%)」が高い結果となりました。
- ・ 自転車競技(ロードレース、マウンテンバイク、トラック、BMX 等)の観戦経験は、95.4%が自転車競技の観戦経験が無い結果となります。
- ・ 大会への期待は、「近くで自転車競技を見たい(54.6%)」が最も高く、次いで、「まちなのにぎわい(42.8%)」、「露店やアンテナショップ(24.4%)」となりました。

② プロサイクルチームのレバンテフジ静岡への関心

- ・ 富士市に拠点事務所を設置し、活動しているプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」を「知っている」が 61.1%となりました。
- ・ プロサイクルチームが参加するイベントでは、「レースイベント(42.5%)」が最も高く、次いで「サイクルイベント(24.4%)」、「健康教室(20.2%)」となりました。

③ 自転車に関してチャレンジしてみたいこと

- ・ 「特にない(59.6%)」が最も高く、次いで「サイクリングを始める(15.8%)」が高くなりました。



サイクルツーリズム振興に関する視点

- サイクリングに「出かける人」は17.5%、「出かけてみたい人」は21.3%で、サイクリングで楽しむ内容は、「自然を楽しむ(64.1%)」が最も高くなりました。
- レンタサイクルを「利用したことのない人」は84.0%と少ない現状です。今後、レンタサイクルの貸出で、今後利用してみたい自転車の種類では、「電動アシスト付自転車(スポーツタイプ以外)」が54.8%と最も多く、次いで「スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)」が35.5%となりました。
- 観光施設と連携したサービスでは、「観光施設等へのバイクスタンドの充実(44.4%)」が最も高く、次いで「空気入れ等道具の貸出(42.6%)」となりました。

① サイクルツーリズムについて

- ・ サイクリングに出かける方は、「よく出かける(2.8%)」、「たまに出かける(14.7%)」、「出かけてみたい(21.3%)」であった一方で、「出かけない」が61.2%と最も高い状況です。
- ・ サイクリングの目的では、「自然を楽しむ(64.1%)」が最も高く、次いで「景観を楽しむ(62.1%)」、「走りを楽しむ(53.5%)」となりました。
- ・ サイクリングに出かける人数は、「1人(44.6%)」と最も高く、次いで「2人(32.9%)」、「3人(16.2%)」となりました。
- ・ 一人あたりのお金の利用では、「1000円程度(50.7%)」が最も高く、次いで「2000円程度(26.6%)」となりました。
- ・ サイクリングの頻度は「月に1~2回程程度(67.1%)」が最も高く、出かける時期は「秋(78.1%)」が最も多く、次いで「春(74.6%)」が多い結果となりました。

② レンタサイクルについて

- ・ レンタサイクルの利用経験は、16.0%に留まり、観光利用が95.1%と最も高くなりました。
- ・ レンタサイクルでは、「シティサイクル」が78.3%と最も高く、今後利用してみたい自転車の種類では、「電動アシスト付自転車(スポーツタイプ以外)(54.8%)」が最も高く、次いで「スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)(35.5%)」となりました。

③ シェアサイクルについて

- ・ シェアサイクルの利用経験は、「利用したことがない」が98.3%と高く、利用用途としては、「観光目的(76.2%)」が最も高くなりました。
- ・ 富士市内でシェアサイクルを利用してみたい方は、24.1%に留まり、利用用途として、「市内移動(61.1%)」が最も高く、次いで「観光目的(41.8%)」となりました。

④ スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)について

- ・ 利用経験が「ない」が90.9%と高い一方で、今後「乗ってみたい」が60.0%となりました。

⑤ 交通事業者や観光施設との連携について

- ・ 交通事業者と連携したサービスでは、「バス停や駅に駐輪場を併設し乗り換えしやすいサービス(49.8%)」が最も高く、次いで「鉄道やバス、タクシーへ自転車をもそのまま乗せられるサービス(42.9%)」となりました。
- ・ 観光施設と連携したサービスでは、「観光施設等へのバイクスタンドの充実(44.4%)」が最も高く、次いで「空気入れ等道具の貸出(42.6%)」、「休憩スペースの提供(30.6%)」となりました。



安心安全に関する視点

- 自転車安全利用五則について、「すべて知っている」が55.2%と最も高く、次いで「一部知っていた」が31.0%となりました。
- また、自転車走行空間整備については、「一部は知っている（一部見たことがある）」が60.2%と最も高く、次いで「知らない（見たことがない）」が15.3%となりました。
- 自転車走行時の危険と感ずることでは、「自動車との距離が近い(66.1%)」が最も高く、自動車での走行中、自転車利用者の走行で危険に感ずることでも、「自転車との距離が近く接触しそうになる(58.2%)」が最も高い現状です。
- 市内を歩いていて、自転車利用者の走行で危険に感ずることでは、「スマートフォン等のながら走行(56.2%)」が最も高く、次いで「自転車が横に並んで走行している(51.2%)」となりました。

① 自転車の安全な利用啓発について

- ・ 自転車安全利用五則の認知度は、「すべて知っていた(55.2%)」が最も高く、次いで「一部知っていた(31.0%)」、「知らなかった(9.6%)」となりました。
- ・ 静岡県自転車条例の改正(平成31年4月)の認知度は「すべて知っていた(61.8%)」、次いで「聞いたことがあるが内容は知らなかった(25.8%)」となりました。

② 自転車走行空間について

- ・ 自転車が安心して道路を通行できる整備(自転車道、自転車通行帯、矢羽根)については、「一部知っている(60.2%)」が最も高く、次いで「知らない」が15.3%となりました。
- ・ 自転車走行時の危険と感ずることでは、「自動車との距離が近い(66.1%)」が最も高く、次いで、「自転車が安心して走れる道路が少ない(63.4%)」、「走行マナー・交通ルールが普及していない(46.8%)」となりました。
- ・ 市内を歩いていて、自転車利用者の走行で危険に感ずることでは、「スマートフォン等のながら走行(56.2%)」が最も高く、次いで「自転車が横に並んで走行している(51.2%)」、「交差点で一時停止せずに走行している(39.7%)」になりました。
- ・ 自動車での走行中、自転車利用者の走行で危険に感ずることでは、「自転車との距離が近く接触しそうになる(58.2%)」が最も多く、次いで「スマートフォン等の操作や音楽を聴きながら走行している(48.5%)」、「自転車が横に並んで走行している(47.5%)」となりました。

③ 自転車利用総合計画の認知度について

- ・ 計画を「知らなかった(66.0%)」が最も高く、次いで「聞いたことあるが内容は知らなかった(22.9%)」が高くなりました。

④ 駐輪環境について

- ・ 駅周辺における駐輪環境では、「毎回駐輪できている(21.4%)」、「駐輪できないことが多い(0.5%)」、「時々駐輪出来ない(1.5%)」となり、「あまり利用していないのでわからない(76.7%)」が最も高くなりました。

⑤ 災害時の自転車利用について

- ・ 災害時の想定する移動手段では、「徒歩(73.3%)」が最も多く、次いで自分の運転する「自動車(51.7%)」となりました。



裾野拡大に関する視点

- 自転車を「利用しない」が 55.6%と「月に 1、2 回」が 13.6%と合わせ 69.2%と自転車をあまり利用しない人が多い現状です。
- 利用する自転車は「シティサイクル(53.0%)」が最も高く、次いで「スポーツタイプ以外の電動アシスト付き自転車(17.6%)」が高い結果となりました。
- また、自転車の利用目的は、「通学(37.8%)」利用が最も高く、次いで「通勤(30.5%)」、「買物(30.5%)」となりました。自転車を利用する理由では、「手軽に使える(70.7%)」が最も高く、次いで「健康のため(34.2%)」となりました。
- 趣味に関する情報は、「インターネット(93.0%)」が最も高く、次いで「SNS(40.9%)」になりました。一方自転車に関する情報は、「自転車販売店(62.1%)」が最も高く、次いで「インターネット(58.9%)」となりました。

① 自転車利用について

- ・ 自転車利用頻度は、「利用しない(55.6%)」が最も高く、次いで「ほぼ毎日(19.9%)」、「月に 1、2 回(13.5%)」となりました。
- ・ 所持している自転車のタイプは、「シティサイクル(53.0%)」が最も高く、次いで「電動アシスト付き自転車(スポーツタイプ以外)(17.6%)」、「スポーツ型電動アシスト付き自転車(E-BIKE)(1.8%)」、「クロスバイク(13.3%)」となりました。
- ・ 自転車利用の目的は、「通学(37.8%)」が最も高く、次いで「通勤(30.5%)」、「買物(30.5%)」、「市内移動(29.4%)」となりました。
- ・ 自転車を利用する理由は、「手軽に使える(70.7%)」が最も高く、次いで「健康のため(34.2%)」、「目的地まで早く着く(33.0%)」となりました。

② 自転車利用の変化について

- ・ コロナ禍である現在の自転車利用は、1 月に比べ「増えた(19.1%)」、「減った(12.8%)」、「変わらない(68.1%)」となりました。

③ 情報収集について

- ・ 趣味に関する情報は、「インターネット(93.0%)」が最も高く、次いで「SNS(40.9%)」、「本(雑誌、広報誌等)(34.8%)」となりました。
- ・ 自転車に関する情報は、「自転車販売店(62.1%)」が最も高く、次いで「インターネット(58.9%)」、「家族知人(17.4%)」となりました。

④ 裾野拡大について

- ・ 今後、富士市で自転車の利活用を推進していくことで大切だと思うことでは、「走行マナー啓発(53.3%)」が最も高く、次いで「自転車走行空間の整備(50.3%)」、「サイクリングコースの充実(40.3%)」となりました。



○ アンケートの集計結果

問1 あなたの年齢を教えてください。

	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	80才以上	未回答・ブランク	総計
回答数	260	98	257	310	283	57	4	0	0	1269
%	20.5%	7.7%	20.3%	24.4%	22.3%	4.5%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%

問2 あなたの性別を教えてください。

	男性	女性	その他	未回答・ブランク	総計
回答数	734	531	1	3	1269
%	57.8%	41.8%	0.1%	0.2%	100.0%

問3 あなたの御職業を教えてください。

	小中学生	高校生	大学・専門学校等	自営業	会社員	医療関係	公務員	パート・アルバイト	主婦・主夫	無職
回答数	3	259	0	6	29	2	867	99	3	1
%	0.2%	20.4%	0.0%	0.5%	2.3%	0.2%	68.3%	7.8%	0.2%	0.1%
	未回答・ブランク	総計								
回答数	0	1269								
%	0.0%	100.0%								

問4 あなたのお住まいの地区(小学校区)を教えてください。

	富士市外	富士南小学校	富士第一小学校	伝法小学校	丘小学校	田子浦小学校	吉原小学校	今泉小学校	広見小学校	富士第二小学校
回答数	86	83	71	65	63	62	59	59	58	57
%	6.8%	6.5%	5.6%	5.1%	5.0%	4.9%	4.6%	4.6%	4.6%	4.5%
	岩松北小学校	青葉台小学校	須津小学校	鷹岡小学校	富士中央小学校	富士川第一小学校	大淵第一小学校	吉永第一小学校	岩松小学校	元吉原小学校
回答数	56	56	51	48	47	44	41	40	37	35
%	4.4%	4.4%	4.0%	3.8%	3.7%	3.5%	3.2%	3.2%	2.9%	2.8%
	原田小学校	天間小学校	吉永第二小学校	富士見台小学校	神戸小学校	富士川第二小学校	東小学校	大淵第二小学校	未回答・ブランク	総計
回答数	35	30	26	26	14	14	5	1	0	1269
%	2.8%	2.4%	2.0%	2.0%	1.1%	1.1%	0.4%	0.1%	0.0%	-

問5 普段、趣味に関する情報を何処から調べますか(複数回答可)。

	インターネット	SNS	専門店	テレビ	本(雑誌、広告等)	家族知人	その他	未回答・ブランク	総計
回答数	1180	519	59	394	442	265	10	0	1269
%	93.0%	40.9%	4.6%	31.0%	34.8%	20.9%	0.8%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問6 あなたは週にどれくらい自転車を利用しますか。

	ほぼ毎日	週に3、4回	週に1、2回	月に1、2回	利用しない	未回答・ブランク	総計
回答数	252	76	63	173	705	0	1269
%	19.9%	6.0%	5.0%	13.6%	55.6%	0.0%	100.0%

問7 あなたの所持している自転車の種類を教えてください(複数回答可)。

	シティサイクル	電動アシスト付自転車(スポーツタイプ以外)	スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)	折り畳み自転車・小径車(ミニベロ)	ロードバイク	マウンテンバイク	クロスバイク	持っていない	その他	未回答・ブランク
回答数	299	99	10	63	66	63	75	8	2	0
%	53.0%	17.6%	1.8%	11.2%	11.7%	11.2%	13.3%	1.4%	0.4%	0.0%
	総計									
回答数	564									
%	-									

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません



問8 自転車利用の目的を教えてください(複数回答可)。

	通勤	通学	買い物	通院	観光・レジャー	サイクリス ポーツ	ビジネス	市内の移動	その他	未回答・ブ ラ ン ク
回答数	172	213	172	12	52	65	8	166	24	0
%	30.5%	37.8%	30.5%	2.1%	9.2%	11.5%	1.4%	29.4%	4.3%	0.0%
	総計									
回答数	564									
%	-									

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問9 自転車を利用する理由について教えてください(複数回答可)。

	手軽に使える	健康のため	環境への配慮	公共交通より使いやすいから	目的地まで早く着く	自転車に乗ることが楽しいから	かっこいい・おしゃれ	免許が無くても運転できるから	経済的だから	その他
回答数	399	193	63	123	186	107	18	40	121	26
%	70.7%	34.2%	11.2%	21.8%	33.0%	19.0%	3.2%	7.1%	21.5%	4.6%
	未回答・ブ ラ ン ク									
回答数	0									
%	0.0%									
	総計									
回答数	564									
%	-									

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問10 コロナ禍である現在の日常生活での自転車利用は、今年の1月に比べて増えましたか。

	増えた	減った	変わらない	未回答・ブ ラ ン ク	総計
回答数	108	72	384	0	564
%	19.1%	12.8%	68.1%	0.0%	100.0%

問11 問10の自転車利用は、どの用途に変化がありましたか。

	通学	通勤	買い物	通院	公共施設への移動	市内移動	レジャー	その他	未回答・ブ ラ ン ク	総計
回答数	87	33	41	2	6	41	17	7	10	180
%	48.3%	18.3%	22.8%	1.1%	3.3%	22.8%	9.4%	3.9%	5.6%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問12 自転車(修理や購入等)に関する情報はどこから調べますか(複数回答可)。

	自転車販売店	インターネット	SNS	本(雑誌、広 報誌等)	家族知人	その他	未回答・ブ ラ ン ク	総計
回答数	350	332	63	49	98	6	0	564
%	62.1%	58.9%	11.2%	8.7%	17.4%	1.1%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問13 地震や津波等の災害時に想定する移動手段は何ですか(複数回答可)。

	自動車(自 分で運転)	自動車(他 者の運転に 同乗)	自転車	徒歩	その他	未回答・ブ ラ ン ク	総計
回答数	650	219	334	930	50	0	1269
%	51.2%	17.3%	26.3%	73.3%	3.9%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問14 自転車を安全に利用するための「自転車安全利用五則」を知っていましたか。

	すべて知 っていた	一部は知 っていた	聞いたこと はあるが内 容は知らな かった	知らなかつ た	未回答・ブ ラ ン ク	総計
回答数	701	394	52	122	0	1269
%	55.2%	31.0%	4.1%	9.6%	0.0%	100.0%

問15 静岡県自転車条例(平成31年4月)が制定され、児童、中学生の自転車通学時のヘルメット着用の義務化や自転車に乗る全ての人は、自転車保険の加入が義務化されましたが、内容を知っていましたか。

	知っていた	聞いたこと はあるが内 容は知らな かった	知らなかつ た	未回答・ブ ラ ン ク	総計
回答数	784	328	157	0	1269
%	61.8%	25.8%	12.4%	0.0%	100.0%



参考資料



問16 自転車の利用環境で危険だと感じている(感じる)ことを教えてください(複数回答可)。

	自転車安心して走れる道路が少ない	自動車との距離が近い	自転車の走行位置が不明瞭	走行マナー・交通ルールが普及していない	歩行者との距離が近い	自動車の走行を阻害していると感じる	問題ない	その他	未回答・ブランク	総計
回答数	804	839	482	594	355	479	36	39	0	1269
%	63.4%	66.1%	38.0%	46.8%	28.0%	37.7%	2.8%	3.1%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問17 市内を歩いていて自転車利用者の走行で危険を感じたことを教えてください(複数回答可)。

	歩道で接触しそうになる	歩道でスピードを緩めず走行している	歩行者が多い場所でも自転車に乗っている	交差点で一時停止せずに走行している	スマートフォン等の操作や音楽を聴きながら走行している	自転車が横に並んで走行している	無灯火(無点灯)で走行している	問題ない	その他	未回答・ブランク
回答数	488	503	364	504	713	650	319	91	34	0
%	38.5%	39.6%	28.7%	39.7%	56.2%	51.2%	25.1%	7.2%	2.7%	0.0%
総計										
回答数	1269									
%	-									

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問18 自転車で走行中(他者の運転に同乗中含む)、自転車利用者の走行で危険だと感じたことを教えてください(複数回答可)。

	自転車との距離が近く接触しそうになる	自転車が車道を逆走して走ってくる	交差点で一時停止せずに侵入してくる	自転車の走行位置が不明確	スマートフォン等の操作や音楽を聴きながら走行している	自転車が横に並んで走行している	無灯火(無点灯)で走行している	問題ない	その他	未回答・ブランク
回答数	738	577	575	428	616	603	318	76	45	0
%	58.2%	45.5%	45.3%	33.7%	48.5%	47.5%	25.1%	6.0%	3.5%	0.0%
総計										
回答数	1269									
%	-									

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問19 富士市では平成23年に「富士市自転車利用総合計画」を策定しましたが、知っていましたか。

	知っていた	聞いたことはあるが内容は知らなかった	知らなかった	未回答・ブランク	総計
回答数	141	291	837	0	1269
%	11.1%	22.9%	66.0%	0.0%	100.0%

問20 自転車が安心して道路を通行できるように、道路が整備されているのを見たことがありますか(知っていますか)。また、整備の違いを知っていましたか。

	すべて知っている(すべて見たことがある)	一部は知っている(一部は見たことがある)	見たことはあるが内容は知らなかった	知らない(見たことはない)	未回答・ブランク	総計
回答数	143	764	168	194	0	1269
%	11.3%	60.2%	13.2%	15.3%	0.0%	100.0%

問21 駅周辺の施設において、自転車は駐輪できていますか。

	毎回駐輪できている	時々駐輪できない	駐輪できないことが多い	あまり利用しないのでわからない	未回答・ブランク	総計
回答数	271	19	6	973	0	1269
%	21.4%	1.5%	0.5%	76.7%	0.0%	100.0%

問23 サイクリングに出かけたことがありますか。また、出かけてみたいですか。

	よく出かける	たまに出かける	今後出かけてみたい	出かけない	未回答・ブランク	総計
回答数	36	187	270	776	0	1269
%	2.8%	14.7%	21.3%	61.2%	0.0%	100.0%



問24 サイクリングは何を目的に出かけますか(複数回答可)。

	自然を楽しむ	景観を楽しむ	走りを楽しむ	食事を楽しむ	知らない場所に行く(通る)ことを楽しむ	歴史的・文化的財を楽しむ	レジャー施設を楽しむ	その他	未回答・フランク	総計
回答数	316	306	264	76	189	39	36	26	0	493
%	64.1%	62.1%	53.5%	15.4%	38.3%	7.9%	7.3%	5.3%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問25 サイクリングは何人くらいで出かけますか(複数回答可)。

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	未回答・フランク	総計
回答数	220	162	80	63	21	17	0	493
%	44.6%	32.9%	16.2%	12.8%	4.3%	3.4%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問26 サイクリングは誰と出かけますか(複数回答可)。

	自分1人	子ども	親	家族	知人や友人	職場の人	その他	未回答・フランク	総計
回答数	224	97	11	159	175	17	4	0	493
%	45.4%	19.7%	2.2%	32.3%	35.5%	3.4%	0.8%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問27 サイクリングにはどれくらい出かけますか(複数回答可)。

	月に5回以上	月に3、4回程度	月に1、2回程度	その他	未回答・フランク	総計
回答数	13	40	331	109	0	493
%	2.6%	8.1%	67.1%	22.1%	0.0%	100.0%

問28 サイクリングはどの時期に出かけますか(複数回答可)。

	春(3~5月)	夏(6~8月)	秋(9~11月)	冬(12~2月)	未回答・フランク	総計
回答数	368	144	385	104	0	493
%	74.6%	29.2%	78.1%	21.1%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問29 富士市内のサイクリングに出かける場合1人あたり「いくら」つかいそうですか。

	1,000円程度	2,000円程度	3,000円程度	5,000円程度	10,000円以上	未回答・フランク	総計
回答数	250	131	87	23	2	0	493
%	50.7%	26.6%	17.6%	4.7%	0.4%	0.0%	100.0%

問30 レンタサイクルを利用したことはありますか。

	利用したことがある	利用したことはない	未回答・フランク	総計
回答数	203	1066	0	1269
%	16.0%	84.0%	0.0%	100.0%

問32 レンタサイクルを利用した目的は何ですか(複数回答可)。

	観光	買い物	ビジネス	その他	未回答・フランク	総計
回答数	193	9	0	9	0	203
%	95.1%	4.4%	0.0%	4.4%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問33 レンタサイクルはどの車種を利用しましたか(複数回答可)。

	シティサイクル	電動アシスト付自転車(スポーツタイプ以外)	スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)	折り畳み自転車・小径車(ミニベロ)	ロードバイク	マウンテンバイク	クロスバイク	未回答・フランク	総計
回答数	159	28	6	2	6	15	7	0	203
%	78.3%	13.8%	3.0%	1.0%	3.0%	7.4%	3.4%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません



参考資料



問34 今後レンタサイクルの貸出で、利用してみたい自転車の種類を教えてください(複数回答可)。

	シティサイクル	電動アシスト付自転車(スポーツタイプ以外)	スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)	折り畳み自転車・小径車(ミニベロ)	ロードバイク	マウンテンバイク	クロスバイク	その他	未回答・プランク	総計
回答数	182	695	450	79	204	206	134	58	0	1269
%	14.3%	54.8%	35.5%	6.2%	16.1%	16.2%	10.6%	4.6%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問35 シェアサイクルを利用したことがありますか。

	利用したことがある	利用したことがない	未回答・プランク	総計
回答数	21	1248	0	1269
%	1.7%	98.3%	0.0%	100.0%

問37 シェアサイクルを利用した目的は何ですか(複数回答可)。

	観光	買い物	ビジネス	その他	未回答・プランク	総計
回答数	16	3	2	3	0	21
%	76.2%	14.3%	9.5%	14.3%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問38 富士市内でシェアサイクルのサービスがあった場合、利用してみたいですか。

	利用してみたい	利用しない	未回答・プランク	総計
回答数	306	963	0	1269
%	24.1%	75.9%	0.0%	100.0%

問39 シェアサイクルはどのような目的で利用してみたいですか(複数回答可)。

	通勤通学	買い物	観光	ビジネス	市内の移動	市外への移動	その他	未回答・プランク	総計
回答数	63	106	128	14	187	34	2	0	306
%	20.6%	34.6%	41.8%	4.6%	61.1%	11.1%	0.7%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問40 今までにスポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)に乗ったことがありますか。

	ある	ない	未回答・プランク	総計
回答数	116	1153	0	1269
%	9.1%	90.9%	0.0%	100.0%

問41 スポーツ型電動アシスト付自転車(E-BIKE)に乗ってみたいと思いますか。

	乗ってみたい	乗ってみたいと思わない	未回答・プランク	総計
回答数	762	507	0	1269
%	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%

問42 自転車と交通事業者が連携したサービスがあったら利用してみたいものを教えてください(複数回答可)

	バス停や駅に駐輪場を併設し乗り換えしやすいサービス	鉄道やバス、タクシーへ自転車をもそのまま乗せられるサービス	バス停や駅にレンタサイクルやシェアサイクルが併設するサービス	手荷物の一時的預かり	メンテナンススペースの提供	その他	未回答・プランク	総計
回答数	632	545	463	292	191	66	0	1269
%	49.8%	42.9%	36.5%	23.0%	15.1%	5.2%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問43 観光施設等と連携したサービスがあったら利用してみたいものを教えてください(複数回答可)。

	観光施設等へのバイクスタンドの充実	ホテルの客室に自転車を保管できる	宿泊施設等での自転車の一時預かり	宿泊施設等からの自転車は配送	カフェ等の飲食店への持ち込み	コンビニ等での自転車修理環境	空気入れ等道具の貸出	休憩スペースの提供	トイレの提供	その他
回答数	564	227	344	200	203	380	540	388	305	63
%	44.4%	17.9%	27.1%	15.8%	16.0%	29.9%	42.6%	30.6%	24.0%	5.0%
	未回答・プランク	総計								
回答数	0	1269								
%	0.0%	-								

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません



問44 東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技が静岡県内で行うことを知っていますか。

	知っている	知らなかった	未回答・ブランク	総計
回答数	1071	198	0	1269
%	84.4%	15.6%	0.0%	100.0%

問45 自転車競技(ロードレース、マウンテンバイク、トラック、BMX等)の観戦経験はありますか。

	はい	いいえ	未回答・ブランク	総計
回答数	59	1210	0	1269
%	4.6%	95.4%	0.0%	100.0%

問47 自転車に関することでチャレンジしてみたいことはありますか(複数回答可)。

	大会の観戦	自転車競技への参加	自転車通勤を始める	サイクリングを始める	サイクリングイベントへの参加	自転車の購入	特にない	その他	未回答・ブランク	総計
回答数	198	36	73	200	53	167	756	13	0	1269
%	15.6%	2.8%	5.8%	15.8%	4.2%	13.2%	59.6%	1.0%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問48 富士市に拠点事務所を設置し、活動しているプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」のことを知っていますか。

	知っている	知らなかった	未回答・ブランク	総計
回答数	775	494	0	1269
%	61.1%	38.9%	0.0%	100.0%

問49 プロサイクリングチームが参加するイベントで興味ある内容を教えてください(複数回答可)。

	レースイベント	キッズ自転車教室	健康教室	キャリア講話	サイクルイベント(ロードバイク体験等)	その他	未回答・ブランク	総計
回答数	539	235	256	86	310	129	0	1269
%	42.5%	18.5%	20.2%	6.8%	24.4%	10.2%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問50 地元で自転車競技大会を開催した場合、どんなことを期待しますか(複数回答可)。

	近くで自転車競技を見てみたい	競技に参加してみたい	プロ選手との交流	露店やアンテナショップ	まちのにぎわい	その他	未回答・ブランク	総計
回答数	693	53	121	297	543	69	0	1269
%	54.6%	4.2%	9.5%	23.4%	42.8%	5.4%	0.0%	-

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません

問51 最後に、今後富士市で自転車の利活用を推進していくことで大切だと思うことを教えてください(複数回答可)。

	自転車の活用方法に関する広報活動	自転車競技の開催	自転車競技選手の育成	プロサイクリストとの連携	サイクリングコースの充実	インバウンド(外国人観光客)に対応した環境整備	バイクの整備	自転車走行空間の整備	走行マナー啓発	企業(交通業者、観光施設等)との連携
回答数	436	279	125	108	511	143	126	638	676	287
%	34.4%	22.0%	9.9%	8.5%	40.3%	11.3%	9.9%	50.3%	53.3%	22.6%
	その他	未回答・ブランク	総計							
回答数	56	0	1269							
%	4.4%	0.0%	-							

※複数回答可であるため%の合計は100%になりません



参考資料



■ 評価指標の設定方法

I. サイクルスポーツ

計画の成果指標	単位	現況 R3	最終 R8
成果指標 I. 自転車競技大会及び自転車イベントの年間集客数	人/年	0	5,000
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 I は、「サイクルスポーツ振興による都市の魅力向上」とし、自転車競技の地元開催等やサイクルスポーツ振興により、都市の魅力を向上させることを目的としています。このため、競技大会やイベントの集客数を成果指標とします。 ○ 最終年度には、自転車レースの事例を基に 5,000 人を目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 1-1. 自転車競技大会の年間開催回数	回/年	0	2
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 1-1 では、自転車競技大会及びイベント等の開催としていることから、自転車レースの開催数を活動指標とします。 ○ 最終目標として、自転車競技大会の開催を年 2 日開催することを目指し、目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 2-1. サイクルスポーツ体験教室の累計受講者数	人	37 (R2)	240
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 2-1 では、自転車競技者や指導者等の発掘、育成としていることから、サイクルスポーツ体験教室の累計受講者数を活動指標とします。 ○ 現状値を令和 2 年度の実績である 37 人とし、サイクルスポーツ体験教室の目標人数を参考値とし、年間 40 人(1 回 20 人の年 2 回)、最終年度には 240 人の累計受講者数を目標として設定しました。 			



II. サイクルツーリズム

計画の成果指標	単位	現況 R3	最終 R8
成果指標Ⅱ. サイクルステーションに関連した年間消費額	千円/年	0	6,150
<p>【設定方法】</p> <p>○ 目標Ⅱでは、「サイクルツーリズム推進による地域活力の向上」とし、魅力あるサイクリング環境を構築することにより、地域活力を向上させることを目的としています。このため、サイクリストの拠点となるサイクルステーションに関連した消費活動を成果指標とします。</p> <p>○ サイクルステーションに関連した年間消費活動は、サイクルステーションの年間利用者数（目標）×1,500円（ウェブアンケート調査より、サイクリングに出かける場合に消費する金額を参考に設定）とレンタサイクルの年間貸出数×2,000円（レンタサイクル1台当たりの貸出金額）から算出した金額を目標値として設定します。</p>			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 3-1. サイクリングコースの設置数	コース	3 (R2)	8
<p>【設定方法】</p> <p>○ 施策 3-1 では、魅力ある資源を活用したサイクリングコースの構築とされていることから、サイクリングコースの設置数を活動指標とします。</p> <p>○ 現在、民間の3コースが設定されていることから、年1コースずつを設定するものとし、最終年度には8コースを目標として設定しました。</p>			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 3-2. 自転車に関するサイトの年間閲覧数	PV/年	0	45,000
<p>【設定方法】</p> <p>○ 施策 3-2 では、市内外に向けたサイクリング等の情報の発信とされていることから、自転車に関するサイトの年間閲覧数を活動指標とします。</p> <p>○ 本市の情報発信を行っているポータルサイトの平均PVを参考として、自転車に関する情報を発信するサイトの最終年間閲覧数を45,000PVを目標として設定しました。</p> <p>※PV(ページビュー)：ウェブサイトがどれだけ閲覧されているかを測るための指標の一つです。</p>			



計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 4-1. サイクルステーションの年間利用者数	人/年	0	2,500
宿泊施設や飲食店舗等のサイクリストの受入認定店舗の累計数	件	0	50
<p>【設定方法】</p> <p>○ 施策 4-1 では、サイクリストが快適に過ごすための環境の構築としていることから、サイクリストの拠点となるサイクルステーションの年間利用者数とサイクリストを受入る店舗の累計数を活動指標とします。</p> <p>○ サイクルステーションの年間利用者数は、事業事例から最終目標を年間 2,500 人として設定しました。また、サイクリストの受入認定店舗の基準を作成し、年間 10 件の増加を見込み、最終年度には 50 件の認定店舗を目標として設定しました。</p>			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 4-2. レンタサイクルの年間貸出数	回/年	721 (H30)	2,000
<p>【設定方法】</p> <p>○ 施策 4-2 では、観光客等の周遊性の向上につながる機能の充実としていることから、レンタサイクルにおける E-BIKE 等の拡充に伴うレンタサイクルの年間貸出数を活動指標とします。</p> <p>○ 現在、新富士駅で行っているレンタサイクルの実績値（令和元年からの新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、平成 30 年度の実績値とする）を現況とし、最終年度の目標は、今後のサイクルステーションで行うレンタサイクルを考慮して設定しました。</p> <p>○ 最終年度の目標は、新富士駅で行っているレンタサイクルの平成 28 年度から平成 30 年度までの年間貸出数の平均値である 800 台と、サイクルステーションで行うレンタサイクル 26 台の 1 台当りの年間稼働率を事業事例より 15% ととした、年間貸出数 1,200 台とを合計した 2,000 台を設定しました。</p>			



Ⅲ. 安全安心

計画の成果指標	単位	現況 R3	最終 R8
成果指標Ⅲ. 年間の自転車事故発生件数	件/年	250 (R1)	225
<p>【設定方法】</p> <p>○ 目標Ⅲでは、「安全・安心に自転車を利用できる環境づくり」とし、自転車走行空間の整備や自転車の交通ルール・マナーの啓発活動等により、歩行者や自転車、自動車が安全に安心して利用できる環境を創出することを目的としています。このため、年間の自転車事故発生件数を成果指標とします。</p> <p>○ 将来の交通事故の状況については、正確に見極めることは難しいところではありますが、自転車事故は上昇傾向にあり、今後、自転車の活用推進するうえで、現状よりもなお一層憂慮すべき事態になることが懸念されます。そこで、現状の自転車事故件数を基準とし、最終年度には10%削減の225件以下を目標として設定します。</p>			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 5-1. 自転車安全利用五則の内容をすべて知っている人の割合	%	55 (R2)	60
<p>【設定方法】</p> <p>○ 施策 5-1 では、自転車利用者のルール・マナー等の広報啓発としていることから、自転車の基本的なルールである自転車安全利用五則について内容をすべて知っている人の割合を活動指標とします。</p> <p>○ 本計画における自転車利用に関する課題を抽出するために実施した、ウェブアンケート調査から計画策定時の自転車安全利用五則の内容をすべて知っている人の割合は、約 55%になっていました。</p> <p>○ 今後、自転車の安全教育の実施等による効果が発現することを想定し、市民の 60%が認知していることを目標とします。</p>			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 5-2. 自転車通勤、通学者へ TS マークを推奨している企業や高校の累計数	カ所	5 (R2)	11
<p>【設定方法】</p> <p>○ 施策 5-2 では、安全な自転車の利用促進としていることから、自転車の点検整備を受けて付帯される TS マークを推奨している企業や高校の累計数を活動指標とします。</p> <p>○ 現在、自転車通学者に推奨している高校が 5 校であることから、現況を 5 カ所とし、今後は企業等への普及を推進していくため、最終年度には、高校が 6 校、企業 5 カ所の計 11 カ所を目標として設定します。</p>			



計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 6-1. 富士市自転車走行空間ネットワーク計画の策定	件	0	1
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 6-1 では、自転車走行空間の計画的な整備としていることから、自転車走行空間ネットワーク計画の策定を活動指標とします。 ○ 令和 8 年までの策定を目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 7-1. 駐輪に関する防犯や利用マナーアップキャンペーンの累計数	回	3 (R2)	23
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 7-1 では、駐輪場の利用環境の向上としていることから、駐輪に関する防犯や利用マナーアップキャンペーンの累計数を活動指標とします。 ○ 現況値は、現状の実施回数の 3 回とし、全国交通安全運動に合わせた実施を想定し、年間 4 回、最終年度には、23 回の累計開催数を目標として設定しました。 			



IV. 裾野拡大

計画の成果指標	単位	現況 R3	最終 R8
成果指標Ⅳ. 自転車の交通分担率の割合	%	5.5	6.0
週に1回以上自転車を利用する人の割合	%	44.5	50
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標Ⅳでは、「自転車利用の裾野拡大による市民生活の質の向上」とし、日常における自転車の利用を拡大することで、市民の健康づくりや環境負荷の低減など、市民生活の質を向上させることを目的としています。このため、自転車を利用する割合を成果指標とします。 ○ 計画策定時の本市における自転車の交通分担率は、約5.5%（第2回岳南都市圏パーソントリップ調査 H27）でした。今後、自転車の活用の推進に関する施策を実施していくことから、5年で0.5%の増加を目標値として、自転車の交通分担率を最終年度には約6.0%として設定しました。 ○ 次期パーソントリップ調査時期と本計画における進行管理時期に差が生じることが想定されることから、本計画で実施したウェブアンケート調査による「週に1回以上自転車を利用する人の割合」についても目標値を設定します。 ○ 最終年度には、市民の半数の方が、週に一回以上自転車を利用することを目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 8-1. サイクルステーションからの情報発信を行う年間の回数	件/年	0	200
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 8-1 では、自転車に対する興味を持つためのきっかけづくりとしていることから、自転車の利用を促進する拠点施設として、サイクルステーションからの情報発信の回数を活動指標とします。 ○ 最終年度には、SNS やホームページの更新等による年間 200 件の情報発信を目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 8-2. 自転車利用を促す広報啓発活動の累計数	件	0	10
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 8-2 では、日常生活で気軽に自転車を利用できる環境の確保としていることから、自転車利用を促す広報啓発活動の累計数を活動指標とします。 ○ 年間 2 件の広報啓発を目標に最終年度には、累計 10 件として設定しました。 			



計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 8-3. 自転車ライドイベント等の魅力を伝えるイベントの年間実施回数	回/年	4 (R2)	10
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 8-3 では、市民が気軽にサイクリングを楽しめる環境の構築とすることから、自転車に乗る楽しさ等の魅力を伝えるライドイベント等の実施回数を活動指標とします。 ○ 最終年度には、市民が気軽にサイクリングを楽しめるように年間 10 回を目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 9-1. 自転車通勤宣言企業の累計取得企業数	企業 団体	0	5
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 9-1 では、自転車を活用した健康づくりと自転車通勤の推進とすることから、従業員の健康づくりや社会への環境負担軽減等につなげるために、自転車通勤を推進する自転車通勤宣言企業の取得企業数を活動指標とします。 ○ 年に 1 企業・団体の取得を見込み、最終年度には、累計 5 企業・団体を目標として設定しました。 			

計画の活動指標	単位	現況 R3	最終 R8
活動指標 10-1. 自転車を活用した防災訓練の累計実施回数	回	0	25
<p>【設定方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策 10-1 では、災害時における自転車活用の推進とすることから、自転車を活用した防災訓練の実施回数を活動指標とします。 ○ 計画策定時は、自転車を活用した防災訓練を実施していないことから、0 回と設定し、その後、年に 5 回の実施を見込み、累計 25 回を目標として設定しました。 			



■ 用語集

用語		解説
ア 行	E-BIKE	本計画での E-BIKE は、スポーツバイクタイプの電動アシスト自転車 (e-マウンテンバイク、e-クロスバイク、e-ロードバイク) のことを指しています。スポーツバイクの走行性能と電動アシスト自転車のアシスト機能をかけ合わせた自転車で、通常の電動アシスト自転車よりも長距離走行や坂道の走行に適した自転車です。
	インバウンド (Inbound)	外国人の日本旅行 (訪日旅行) または、訪日外国人観光客のことです。
	SDGs (Sustainable Development Goals)	持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール (目標) と 169 のターゲット (具体目標) を示したものであり、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。
	SDGs 未来都市	SDGs 未来都市とは、SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されているものです。本市は令和 2 年 7 月 17 日、SDGs 未来都市に選定されました。
	MTB (Mountain Bike)	マウンテンバイク (MTB) とは、荒野、山岳地帯等での高速走行、急坂登降、段差越えなどを含む広範囲の乗用に対応して、軽量化並びに耐衝撃性、走行性能および乗車姿勢の自由度等の向上を図った構造の自転車のことです。
カ 行	クリテリウム	自転車競技のロードレースの一つで、周回距離が短いコースを複数回周回して順位を競う形態のレースのことです。
	健康経営	健康経営とは、従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性の向上を目指す経営手法のことです。
	交通分担率	ある交通手段のトリップ数の全交通手段のトリップ数に占める割合です。人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位をトリップといい、1 回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても 1 トリップと数えます。
	ゴールデンルート	外国人観光客が訪れる日本の王道観光ルートのことです。本計画におけるゴールデンルートは、訪日外国人観光客に特に人気のある、東京・箱根や富士山周辺・名古屋・京都・大阪という日本の人気 5 都市を周遊するルートのことを指しています。



用語		解説
サ 行	サイクルスポーツ	自転車を用いて行う競技のことです（自転車競技）。
	サイクルツーリズム	サイクルツーリズムとは、自転車を活用した観光のことです。
	サイクルトレイン	自転車を解体せずに鉄道車両内に持ち込むことのできるサービスの ことです。
	サポートライダー	サイクルイベントにおけるコース誘導や参加者の安全確保に向けた 活動及び地元サイクリストとして地域の魅力を紹介するツアーガイ ドなどの役割を担ってもらうスタッフのことです。
	シェアサイクル	街中にいくつもの自転車貸出拠点（ポート）を設置し、利用者がどこ でも貸出・返却できる交通手段のことです。「コミュニティサイクル」、 「自転車シェアリング」、「都市型レンタサイクル」とも称されますが、 本計画では、後述の「レンタサイクル」と区別して扱っています。
	シクロクロス	シクロクロスは、1周が3～4kmの整地がされていないコースを複数 回周回して順位を競う形態のレースです。コースには人工の障害物 （柵、階段など）が設けられ、下車して自転車を担がなければならない 区間が作られています。
	シビックプライド	シビックプライドとは、都市に対する市民の誇りのことです。「郷土 愛」や「まち自慢」など、単に愛着を示す言葉とは異なり、「この都 市をより良い場所にするために自分自身が関わっている」、「自分がこ の都市の未来をつくっている」という当事者意識を伴う自負心のこと を指しています。
	自転車専用通行帯 （自転車通行帯）	道路において自転車の通行のために、車道の左端に設けられる車両通 行帯（レーン）で、自転車専用の標識と標示の両方が掲げられている もののことです。
	自転車走行空間ネット ワーク計画	安全で快適な自転車走行空間を効果的、効率的に整備することを目的 に、自転車ネットワークを構成する路線を選定し、その路線の整備形 態等を示した計画です。
	自転車道	自転車道とは、自動車が行き交う道路から縁石線又は柵その他これに 類する工作物により構造的に分離された自転車の通行する道路の部 分のことです。
車道混在	車道混在とは、歩行者と空間的に分離された、車道内を自転車と自動 車が縦列で混在しながら通行する形態のこと。道路へ自転車の通行位 置を明示し、自動車に注意喚起するために必要に応じて路肩のカラー 化、矢羽根型路面標示やピクトグラム等を設置しています。	



用語		解説
タ 行	太平洋岸自転車道	千葉県銚子市を起点として神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸沿岸を走り、和歌山県和歌山市に至る延長約1,400kmのサイクリングルートです。太平洋岸自転車道の沿線は、世界遺産である富士山をはじめ、日本を代表する観光地・景勝地が多数存在するルートとなっています。
	TS マーク	自転車安全整備士が点検確認した普通自転車に貼付されるマークです。このマークには傷害保険や賠償責任保険などの保険が付帯しています。 ※ 自転車安全整備士…（公財）日本交通管理技術協会が実施する自転車安全整備技能検定に合格した人
	電動アシスト自転車	電動機（モーター）により人力を補助する電動アシスト機能が付加された自転車のことです。
ナ 行	ナショナルサイクルルート	ナショナルサイクルルートとは、2019年に国が導入した、「日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルート」を認定する制度です。2021年10月現在、「太平洋岸自転車道」を含めた6ルートが指定されている。
ハ 行	バイクピット	静岡県が進める事業で、サイクリストが休憩や自転車の駐輪及びメンテナンスができる場所として、駐輪場やサイクルラックの設置、自転車空気入れと工具の貸出などの要件を満たした施設。
	ピクトグラム	ピクトグラムとは、文字や言語によらず、図形等により対象の意味や概念、特徴を表したもの。
	BMX (Bicycle Motocross)	バイクモトクロス（BMX）とは、自転車競技の一種。または、その競技で使用される自転車をいいます。スピードを競うレーシングと、ジャンプやトリックなどの技を競うフリースタイルなどの競技があります。
	富士山一周 サイクリングルート	世界文化遺産「富士山」の裾野を一周するサイクリングルートです。国土交通省道路局が進める日本風景街道「ぐるり富士山風景街道」が推奨しており、静岡県及び山梨県の自転車活用推進計画においてもモデルルートとされています。ぐるり富士山風景街道の取り組みの中では、ナショナルサイクルルートの指定を目指しています。
マ 行	モバイルアプリケーション	スマートフォンやタブレット型端末、その他携帯端末向けに設計、制作されたアプリケーションソフトウェアのことです。
ラ 行	輪行袋	輪行袋とは、公共交通機関（鉄道、バス、航空機など）を利用して自転車を運ぶ時に、自転車の一部を解体して収納する袋のことです。
	レンタサイクル	自転車の借用と返却を同一の場所で行い、数カ月など長期間の貸し出しではなく、数時間程度の貸し出しを行うサービスののことです。本計画では、前述の「シェアサイクル」と区別しています。

参考資料

富士市自転車活用推進計画

令和3年10月発行

発行 富士市

〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地

URL: <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

編集 富士市 市民部 スポーツ振興課

TEL : 0545-55-2876

E-mail: si-sports@div.city.fuji.shizuoka.jp

